

令和元年度 事業報告書

公益財団法人 大阪府文化財センター

事業報告書目次

I 一般庶務	1
II 埋蔵文化財調査事業	2
III 文化財資料活用事業	6
IV 大阪府立弥生文化博物館事業	13
V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業	27
VI 泉佐野市立歴史館いずみさの事業	43
VII 日本民家集落博物館事業	54

令和元年度 事業報告

I 一般庶務

1. 理事会及び評議員会開催状況

令和元年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。

年 月 日	会議名称	場 所	議 案
平成31年4月22日	第1回(臨時)理事会	理事会の決議の省略 (書面表決)	1. 第1回評議員会の招集事項について
平成31年4月26日	第1回(臨時)評議員会	評議員会の決議の省略 (書面表決)	1. 理事1名選任について
令和元年6月12日	第2回理事会	国際障害者交流センター ビッグ・アイ 小研修室5・6	1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 平成30年度 事業報告及び収支決算について 3. 定時評議員会の招集事項について 4. 府立博物館の指定管理について
令和元年6月28日	第2回評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 平成30年度 事業報告及び収支決算について 2. 理事の選任について 3. 監事の選任について 4. 評議員の選任について 5. 府立博物館の指定管理について
令和元年6月28日	第3回(臨時)理事会	理事会の決議の省略 (書面表決)	1. 業務執行理事(専務理事)1名選定について
令和元年11月 8日	第4回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 令和元年度 事業の進捗について 3. 令和元年度 補正予算書(案)について
令和 2年 3月25日	第5回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 令和元年度 第二次補正予算書(案)について 3. 令和2年度 事業計画書(案)、収支予算書(案)、資金調達及び設備投資の見込みについて 4. 代表理事の選定について 5. 評議員会の招集事項について
令和 2年 3月31日	第3回(臨時)評議員会	評議員会の決議の省略 (書面表決)	1. 評議員1名選任について

2. 役員・評議員の異動状況

年 月 日	就	任	退	任
平成31年 4月26日	理 事	禰冨田佳男 (新任)		
令和元年 6月28日			評議員	笠間光弘
令和元年 6月28日	理 事	江浦 洋 (再任)		
令和元年 6月28日	理 事	秋山芳廣 (再任)		
令和元年 6月28日	理 事	網 伸也 (再任)		
令和元年 6月28日	理 事	坂井秀弥 (再任)		
令和元年 6月28日	監 事	鳴澤成泰 (再任)		
令和元年 6月28日	評議員	池田良治 (再任)		
令和元年 6月28日	評議員	勝良憲治 (新任)		
令和元年 6月28日	評議員	工楽善通 (再任)		
令和元年 6月28日	評議員	高井道弘 (再任)		
令和元年 6月28日	評議員	南谷恵敬 (再任)		
令和元年 6月28日	専務理事	江浦 洋 (再任)		
令和元年10月17日			評議員	芝本哲也
令和 2年 3月31日			理 事	田邊征夫

II 埋蔵文化財調査事業

1. 調査事業

文化財の保存・活用を目的として、埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理等の事業を下記の通り実施した。

(1) 大阪府域

- ① 国土交通省 近畿地方整備局がPFI法に基づき施行する大阪第6地方合同庁舎（仮称）整備等事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 大林組 大阪本店）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
大坂城跡・難波宮跡〔調査・整理〕	52,943,000	345	大阪市中央区

- ② 西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪東事務所が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線（八幡～高槻）建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
上牧遺跡(3)〔調査〕	7,840,000	1,380	高槻市
船橋遺跡(2)〔調査〕	17,098,000	2,182	枚方市
船橋遺跡(3)〔調査〕	5,692,000	3,751	枚方市
船橋遺跡(1・2)〔整理〕	17,352,000	0	枚方市

- ③ 西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪西事務所が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線（八幡～高槻）建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
上牧遺跡(2)他〔調査〕	7,645,000	4,554	高槻市
上牧遺跡〔整理〕	7,606,000	0	高槻市
梶原南遺跡〔調査〕	25,486,000	4,473	高槻市

- ④ 大阪府都市整備部 枚方土木事務所が施行する京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
伊加賀遺跡 他〔確認・試掘〕	3,263,000	395	枚方市・寝屋川市

- ⑤ 大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
大県郡条里遺跡(5)〔調査・整理〕	14,718,000	163	柏原市

大県郡条里遺跡(6)〔調査〕	20,466,000	1,749	柏原市
----------------	------------	-------	-----

⑥ 枚方市上下水道局が施行する中宮浄水場更新事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
禁野本町遺跡〔整理〕	27,011,000	0	枚方市

⑦ 千早赤阪村が施行する千早赤阪村役場新庁舎建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
出合遺跡〔調査・整理〕	15,179,000	304	千早赤阪村

⑧ J R 島本駅西土地区画整理準備組合が選定した業務代行予定者の株式会社フジタが施行する北部大阪都市計画事業 J R 島本駅西土地区画整理事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
島本町 桜井地区〔試掘〕	1,231,000	40	島本町

⑨ 高槻市成合南土地区画整理組合が選定した業務代行者の大和ハウス株式会社が施行する北部大阪都市計画事業 成合南土地区画整理事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
金龍寺旧境内跡〔調査・整理〕	27,832,000	8,127	高槻市

⑩ 三井不動産レジデンシャル株式会社・野村不動産株式会社 関西支社が施行する茨木市城の前町 (東芝大阪工場跡地) 開発 共同住宅建設事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
太田遺跡(2)〔調査・整理〕	11,902,000	1,282	茨木市

⑪ イオンタウン株式会社が施行する東芝大阪工場跡地開発 店舗建設事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
太田遺跡(3)〔調査・整理〕	9,392,000	2,987	茨木市

⑫ 茨木市南目垣・東野々宮土地区画整理準備組合が選定した業務代行予定者の株式会社 竹中土木 大阪本店が施行する (仮称) 茨木市南目垣・東野々宮土地区画整理事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
茨木市 南目垣地区〔試掘〕	3,791,000	403	茨木市

- ⑬ ニプロ株式会社が施行するニプロ健都イノベーションパーク施設計画事業地内の発掘調査
(委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
明和池遺跡 [調査・整理]	7,467,000	3,102	摂津市
明和池遺跡 [報告書印刷]	405,700	0	摂津市

- ⑭ 星田北土地区画整理組合が選定した業務代行者の株式会社 大林組、星田駅北土地区画整理組合が選定した業務代行者の戸田建設株式会社が施行する東部大阪都市計画事業 星田北土地区画整理事業、ならびに星田駅北土地区画整理事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
平池遺跡・堀之内遺跡・星田駅北遺跡・ 四馬塚遺跡 [調査・整理]	57,043,000	9,708	交野市

- ⑮ 松原市新堂4丁目土地区画整理組合が選定した業務代行者の戸田建設株式会社 大阪支店が施行する松原市新堂4丁目土地区画整理事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
新堂遺跡 [調査・整理]	29,192,000	2,828	松原市

- ⑯ 近鉄不動産株式会社が施行する(仮称)駒ヶ谷土地開発計画事業地内の発掘調査
(委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
駒ヶ谷遺跡・河内飛鳥寺跡 [確認]	4,828,000	1,727	羽曳野市

- ⑰ 学校法人 塚本学院が計画し、大成建設株式会社 関西支店 大阪芸術大学キャラクター造形学科棟新築工事作業所が施行する(仮称)大阪芸術大学キャラクター造形学科新築工事準備工事事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
東山遺跡 [調査・整理]	18,611,000	299	河南町

- ⑱ 三井不動産株式会社が計画し、株式会社 竹中土木 大阪本店が施行する堺市美原区黒山東事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
黒山遺跡・太井遺跡 他 [確認・試掘]	1,889,000	88	堺市美原区
黒山遺跡・太井遺跡 [調査]	10,128,000	5,044	堺市美原区

(2) 大阪府外

⑯ 和歌山市が施行する市民会館（仮称）市民文化交流センター建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
和歌山城跡 第34次 [整理]	35,623,000	0	和歌山市

<令和元年度 調査事業 総計>

受託件数 27件 (平成30年度 21件)
委託金額 441,633,700円 (平成30年度 567,302,100円)
調査面積 54,931㎡ (平成30年度 59,103㎡)

(平成27年度 受託件数 28件 調査面積 89,865㎡)

(平成28年度 受託件数 25件 調査面積 31,317㎡)

(平成29年度 受託件数 23件 調査面積 30,836㎡)

2. 技術支援

大阪府外で実施された下記の埋蔵文化財発掘調査について、調査主体である各法人からの依頼に基づいて職員を出向させ、技術支援を行った。

① 公益財団法人 かながわ考古学財団が実施する第二東海自動車道横浜名古屋線（新東名高速道路）建設事業、ならびに関連事業地内の発掘調査（平成27年度～）

3名

上粕屋・和田内遺跡 上粕屋・秋山遺跡 【伊勢原市】

横野山王原遺跡 三廻部東耕地遺跡 【秦野市】

Ⅲ 文化財資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、令和元年度は次の事業を実施した。

1. 文化財講演会事業

(1) 文化財講演会事業。シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
5月16日	「古代の占いと天皇」	一般	近鉄文化サロン	50	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活6』
6月20日	「暦の歴史」	一般	近鉄文化サロン	71	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活6』
7月18日	「弥生時代、 大阪の武器と戦い」	一般	近鉄文化サロン	71	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活6』
8月29日	「古墳における 土器を用いた儀礼 －土師器を中心に－」	一般	近鉄文化サロン	57	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活6』
9月19日	「弥生のはじまり －河内と因幡の諸相－」	一般	近鉄文化サロン	79	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活6』
10月17日	「祈りの風景－古墳時代 の集落を中心に－」	一般	近鉄文化サロン	61	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活6』
11月21日	「「代替わり」の考古学」	一般	近鉄文化サロン	56	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活6』
12月19日	「古墳築造過程と葬送 儀礼からみた古墳時代」	一般	近鉄文化サロン	83	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活6』
1月16日	「鏡の変遷」	一般	近鉄文化サロン	70	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活6』
1月27日	「前方後円墳の築造技術と その背景－羽曳野市 蔵塚古墳を中心に－」	一般	近鉄文化サロン	46	でかける博物館講座 『遺跡が語る』
2月20日	「古代王権の祭祀－祈年祭 と新嘗祭・大嘗祭－」	一般	近鉄文化サロン	81	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活6』
2月24日	「古代の役所か －堺市丹上・真福寺遺跡－」	一般	近鉄文化サロン	30	でかける博物館講座 『遺跡が語る』
3月16日	「二上山の石切場で 何が作られたか －太子町楠木石切場跡－」	一般	近鉄文化サロン	コロナ 中止	でかける博物館講座 『遺跡が語る』
3月19日	「古代びとのあの世への 持ち物」	一般	近鉄文化サロン	コロナ 中止	でかける博物館講座 『考古学からみる古代の生活6』

計 755 名

(2) 連携講演。博物館等外部と連携し、講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
7月13日	「和歌山城跡の第34次調査」	一般	公益財団法人 和歌山県文化財センター	地宝のひびき －和歌山県内文化財調査報告会－	89
9月1日	「上牧遺跡・井尻遺跡」	一般	歴史館いづみさの	夏季企画展「摂河泉の考古学 －小さな速報展－」	26
9月8日	「船橋遺跡」	一般	歴史館いづみさの	夏季企画展「摂河泉の考古学 －小さな速報展－」	22
9月19日	「枚方市船橋遺跡の 発掘調査成果報告」	一般	京都信用金庫 くずは支店会議室	くずはで歴史を楽しむ会	30
10月21日	「卑弥呼の時代 南河内のムラ も変わる －羽曳野市尺度遺跡－」	一般	羽曳野市立 陵南の森公民館	歴史文化講座	30
11月25日	「百済王族の墓か －羽曳野市蔵塚古墳－」	一般	羽曳野市立 陵南の森公民館	歴史文化講座	29
11月27日	「東山遺跡の 発掘調査と最新成果」	一般	河南町教育委員会	かなん文化財講座	17
12月2日	「古代の役所か －堺市丹上・真福寺遺跡－」	一般	羽曳野市立 陵南の森公民館	歴史文化講座	29
12月3日	「宮の前遺跡（泉佐野市所在）の 発掘調査成果と日根野におけ る中世の耕地開発について」	一般	泉佐野市立 日根野公民館	公民館講座	14
12月16日	「二上山の石切場で何が作られ たのか －太子町楠木石切場跡－」	一般	羽曳野市立 陵南の森公民館	歴史文化講座	36
12月19日	「女王卑弥呼と堺・大阪」	一般	堺市立 女性センター	堺自由の泉大学 「歴史探訪と考古学講座」	24
1月23日	「聖武・孝謙天皇が訪れた 河内六寺を発掘する」	一般	エルおおさか	エルおおさか歴史セミナー 「平城京とその時代 ～都を結ぶ道・人・寺～」	85

計 431 名

2. 現地説明会・現地公開事業

現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	備 考	参加人数
8月17日	南河内郡千早赤阪村 出合遺跡現地公開	一般		48
8月31日	交野市 平池・星田駅北遺跡現地公開	一般		144

計 192 名

3. 文化財体験学習事業

(1) 体験学習等を通じて学校教育を支援した。

実施月日	内容	対象者	場所	参加人数
7月29日～8月2日	夏季集中講座 「考古学入門」	大阪府立 今宮高校2年生	大坂城跡調査現場、弥生文化博物館、近つ飛鳥博物館	3
10月17日	古代日本史研究旅行 「考古学体験」	東京都私立 和光高校2年生	梶原南遺跡、弥生文化博物館	28

計31名

(2) 発掘調査現場等の見学等の受け入れをした。

実施月日	内容	対象者	場所	参加人数	備考
7月20日	発掘現場見学	太田公民館	茨木市 太田遺跡	60	
8月30日	発掘現場見学	星田小学校6年生	交野市 平池・ 星田駅北遺跡	123	
10月21日	発掘現場見学	茨木高校	茨木市 太田遺跡	8	「課題研究 北摂の考古学を親しむ」
11月15日	発掘現場見学	独立行政法人国際協力機構研修生	高槻市 梶原南遺跡	3	JICA課題別研修 「博物館とコミュニティ開発」

計194名

(3) 子ども向けの体験事業を実施した。

実施月日	内容	対象者	場所	参加人数
7月7日	「はにわ貯金箱を作ろう」	一般(子ども向け)	近鉄百貨店サマーキャンパス「まなぼスタジオ」	19
8月24日	夏のこどもチャレンジ 「勾玉けしごむをつくろう」	一般(子ども向け)	近鉄文化サロン阿倍野	3

計22名

4. 文化財展示会事業

(1) 博物館等と連携し、適時、スポット展示し公開した。

実施年月日	内容	参加人数	会場	備考
1月22日～ 3月8日	「古代の装身具—古鏡の世界—」	7,850	大阪府立 狭山池博物館	大阪府教育委員会・ 大阪府立狭山池博物館共催 (2月29日から臨時休館)

計7,850名

5. 文化財広報事業

(1) 当センターの事業年報(平成30年度)の編集・刊行

(2) ホームページでの当センターの情報提供

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、保管資料の公開、出版等に関する情報を

一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地説明会・現地公開資料等をホームページに掲載公開した。

(3) 「関西考古学の日」への参加

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成20年度を初回として実施したものである。平成27年度からは広く小中学生や家族の参加を促すため、夏休み期間から秋季にかけての期間に設定し、令和元年度は7月20日から11月30日に設定された。当センターは、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、泉佐野市立歴史館いずみさの、日本民家集落博物館の行事情報を掲載した。

6. 文化財資料収集整理事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

①令和元年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	188冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	2,928冊
センター発行図書	7冊
計	3,123冊
累計蔵書	96,163冊

②蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

蔵書データベースは、総計96,000レコード。

(2) 文化財情報のデジタル化

報告書に掲載された写真のうち、主にカラー図版の長期保存を図るため、画像データ化し、活用できるようにした。

(3) 発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

7. 文化財資料提供事業

(1) 発掘資料の出土品、写真等の貸出、資料調査の対応等

①資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり、資料の出品を行った。

貸出先	展覧会名等	出品資料
吉野ヶ里歴史公園	特別企画展 「よみがえる邪馬台国—倭人伝のクニを探るI「邪馬台国と豊の国・豊前」」	亀井遺跡、山賀遺跡：分銅形石製品、石杵、砥石、水差形土器、台付鉢、鳥形木製品ほか
大阪府立 近つ飛鳥博物館	夏季特別展 「百舌鳥・古市古墳群と土師氏」	駒ヶ谷遺跡、余部日置荘遺跡：陶棺片、円筒埴輪
滋賀県立 安土城考古博物館	秋季特別展 「動物たちと生きる」	大坂城跡、讃良郡条里遺跡：犬形土製品、板絵絵馬

貸出先	展覧会名等	出品資料
和泉市 いづみの国歴史館	夏季特別展 「須恵器展 2 - 泉北丘陵窯跡群の軌跡 -」	野々井西遺跡、信太山遺跡、大庭寺遺跡、伏尾遺跡：須恵器、軟質系甗ほか
鈴鹿市考古博物館	特別展 「塩を作り、運ぶ～伊勢湾をめぐる～」	湊遺跡、下田遺跡、小島北磯遺跡、脇浜遺跡：製塩土器
九州国立博物館	文化交流展 「海の道、アジアの路」	仏並遺跡：土面
泉佐野市立 歴史館いづみさの	夏季企画展 「摂河泉の考古学 - 小さな速報展 -」	井尻遺跡、上牧遺跡、船橋遺跡、禁野本町遺跡：砥石、須恵器、滑石製模造品、鉄器、土師器小型丸底壺・甗・鍋、製塩土器、羽釜、白磁、瓦質土器、砥石、葉莢ほか
大阪府立 近つ飛鳥博物館	秋季企画展 「ヤマト王権とその拠点 - 政治拠点と経済拠点 -」	大庭寺遺跡、船橋遺跡、難波宮跡：須恵器、焼台、ガラス玉鑄型、土師器、碗型滓、羽口、漆付着壺、新羅緑釉蓋、羽口、砥石ほか
尼崎市立 田能資料館	特別展 「どごうちゃん」	久宝寺遺跡、山賀遺跡：土偶
大阪府立 弥生文化博物館	秋季特別展 「北陸の弥生世界 - わざとこころ -」	亀井遺跡、山賀遺跡、巨摩遺跡、若江北遺跡、瓜生堂遺跡、太秦遺跡、美園遺跡、城山遺跡、成合遺跡、八尾南遺跡：ヤリガンナ、鉄斧柄、石斧柄、木製高杯、脚坏皿、合子蓋、四脚合子、斧柄、四脚台、袋状鉄斧柄、杓子、石斧、ヒスイ勾玉、鉄ノミ、匙ほか
四條畷市立 歴史民俗資料館	第 34 回特別展 「重要拠点 KARIYA - 雁屋遺跡弥生時代拠点集落の変遷 -」	讃良郡条里遺跡、太秦遺跡、太秦古墳群、大尾遺跡、：石庖丁、スクレイパー、石斧、磨製石剣、磨製石鏃、勾玉、高坏、石鏃、ほか
大阪府立 近つ飛鳥博物館	冬季企画展 「歴史発掘おおさか 2019」	太田遺跡、東山遺跡、大県郡条里遺跡、出合遺跡：円筒埴輪、朝顔形埴輪、紡錘車、須恵器、土師器、硯、土馬、ガラス埴塼、土師器皿、瓦器椀、木製物差し、刀子木型、羽釜、瓦器皿、墓石ほか

等 12 件

計 401 点

②常設展示資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり常設展示の資料の出品を行った。

大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立狭山池博物館、泉佐野市立歴史館いづみさの、和泉市立いづみの国歴史館、堺市博物館、堺市立みはら歴史博物館、吹田市立博物館、太子町立竹内街道歴史資料館、国立歴史民俗博物館、舞鶴市立赤れんが博物館

計 11 件 286 点

③写真資料の貸出

行政機関の他、出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

九州国立博物館、吉野ヶ里歴史公園、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立弥生文化博物館、滋賀県立安土城考古博物館、(公財)石川県立埋蔵文化財センター、堺市立みはら歴史博物館、堺市観光局、泉佐野市立歴史館いづみさの、和泉市いづみの国歴史館、八尾市、八尾市文化財調査研究会、高槻市立今城塚古代歴史館、四條畷市立歴史民俗資料館、尼崎市立田能資料館、鈴鹿市考古博物館、交野市教育委員会、豊田市、

筑紫野市教育委員会、木簡学会、一般社団法人近畿建設協会、朝倉書店、和泉書院、小峰書店、ジャパン通信情報センター、岩波書店、新泉社、新風書房、帝国書院、山川出版社、雄山閣、NHK 大阪拠点放送局制作部、ほか、テレビ局等

計 61 件 187 点

④資料調査対応

研究者、専攻学生、博物館等から研究のためや展示借用予定資料の事前調査に対応した。

九州国立博物館 1、吉野ヶ里歴史公園 1、大阪府立近つ飛鳥博物館 3、大阪府立弥生文化博物館 1、滋賀県立安土城考古博物館 1、泉佐野市立歴史館いづみさの 1、枚方市立枚方鍵屋資料館 1、四條畷市立歴史民俗資料館 1、鈴鹿市考古博物館 1、奈良県立橿原考古学研究所 1、石川県金沢城調査研究所 1、尼崎市立田能資料館 1、大阪大学学生 2、同志社大学学生 1、愛媛大学学生 1、奈良大学学生 1 ほか

計 19 件

⑤原稿等執筆協力

秋田魁新報社 6月3日朝刊文化欄

「豊臣家の信任ぶりを示すー大坂城三ノ丸にあった佐竹屋敷跡ー」

(2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

(3) 図書の出版・頒布・ミュージアムグッズ頒布

①図書の出版・頒布

令和元年度、下記の図書を出版した。

- 1 第 298 集 東山遺跡
- 2 第 299 集 大県郡条里遺跡 5
- 3 第 300 集 出合遺跡
- 4 第 301 集 明和池遺跡 7
- 5 第 302 集 太田遺跡・太田廃寺跡・太田遺跡・太田城跡 1
- 6 年報 平成 30 年度
- 7 大阪府教育庁文化財調査事務所年報 23
- 8 弥生文化博物館 夏季特別展「白兔のクニへー発掘された因幡のあけぼのー」
- 9 弥生文化博物館 秋季特別展「北陸の弥生世界 わざとこころ」
- 10 弥生文化博物館 冬季企画展
「はくふだでめぐる泉州の歴史と文化～カードで発掘！地域の宝もの～」
- 11 近つ飛鳥博物館 小冊子「寛弘寺古墳群を考える」
- 12 近つ飛鳥博物館 夏季特別展「百舌鳥・古市古墳群と土師氏」
- 13 近つ飛鳥博物館 秋季企画展「ヤマト王権とその拠点」
- 14 近つ飛鳥博物館 冬季企画展「歴史発掘おおさか 2019ー大阪府発掘調査最新情報ー」
- 15 近つ飛鳥博物館館報 23

※7 については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

②図書の頒布

博物館において来館者サービスの一環として、展示に関連した各出版社の書籍を委託頒布した。

③博物館における関連グッズ頒布提供

博物館において来館者サービスの一環として、魅力あるミュージアムグッズの頒布をおこなった。

8. 文化財研究事業

(1) 近畿ブロック埋文研修会に参加した。

第25回の令和元年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、(公財)和歌山県文化財センターが開催法人となり、令和元年11月22日に開催され、当法人職員が出席した。『発掘調査と保存処理から建物について考える』というテーマで研究発表が行われた。

(2) 共同研究の研究員等の委嘱を受けると共に職員の技能を高めた。

実施月日	内容	場所	備考
令和元年度	「水をめぐる認知と技術と社会の連環からみた日本列島の歴史過程と文化形成」	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	共同研究員
令和元年度	「高分解能古気候学と歴史・考古学の連携による気候変動に強い社会システムの探索」	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所	研究プロジェクトの一員
8月2日	「年輪酸素同位体比を用いた日本列島における先史暦年代体系の再構築と気候変動影響評価」第1回会議	名古屋大学大学院環境学研究科	会議出席依頼
12月23・24日	柵田第1遺跡水田跡の調査指導	宮崎県都城市	都城市教育委員会

IV 大阪府立弥生文化博物館事業

1. 展示公開事業

(1) 常設展示

第1展示室は、「目で見る弥生文化」の導入ゾーン、「コメつくりの始まり」・「新しい技術の誕生」・「ムラ・戦い・クニ」・「弥生人」・「交流」・「死とまつり」のテーマゾーン、卑弥呼像を中心としたシンボルゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示した。

第2展示室は、「池上曾根ワールド」と題して、国史跡池上曾根遺跡から出土した資料を展示した。

(2) 特別展・企画展

①ミュージアムギャラリー「創作展 いずみー和泉市文化協会美術部門十部門の粹ー」

【入館者数：9,125名 183名/日】

ア. 開催概要 和泉市文化協会美術部門（押し花、木彫り、写真、書道、水墨画、ちぎり絵、陶芸、日本画、俳画、洋画）の会員の作品展示を行い、地域に開かれた親しまれる博物館としての役割を担った。

イ. 開催期間 平成31年4月20日（土）～令和元年6月16日（日） 【会期：50日間】

ウ. 関連イベント

5月19日（日）「卑弥呼と写真を撮ろう！」写真部門出展者 【参加者数：18名】

5月25日（土）「毛筆で名前を書いて、表札を作ろう！」書道部門出展者 【参加者数：26名】

②夏季特別展「白兔のクニへー発掘された因幡のあけぼのー」 【入館者数：10,606名 161名/日】

ア. 開催概要 近年行われた発掘調査により新たな発見が相次いだ因幡（鳥取県東部地域）の歴史を掘り下げるとともに、地域の特性や風土、文化を考えた。

イ. 開催期間 令和元年7月21日（日）～10月6日（日） 【会期：66日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

エ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

7月27日（土）、8月17日（土）、31日（土）、9月12日（木）、21日（土）、22日（日）、10月5日（土） 【参加者数：計271名】

オ. 関連イベント

8月31日（土）「聴く古事記「稲羽之素菟」 朗読 安西なをみ 【参加者数：132名】

タイアップミニ展示「鳥取藩主池田家とその墓所」

万葉衣装着用体験

③秋季特別展「北陸の弥生世界 わざとこころ」 【入館者数：6,930名 139名/日】

ア. 開催概要 石川県小松市八日市地方遺跡は、弥生時代のイメージを覆す遺物が続出し、研究をけん引する成果を上げてきた。本展では、そこで出土した美しい土器・石器・木器・金属器をさらに掘り下げ、北陸弥生人の高い技術力、周辺地域との活発な交流を描き出した。

イ. 開催期間 令和元年10月19日（土）～12月15日（日） 【会期：50日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

エ. 展示解説 特別展示室で学芸員による展示解説を実施した。

10月19日(土)、11月3日(日祝)、9日(土)、30日(土) 12月14日(土)

【参加者数：計232名】

オ. ワークショップ

11月16日(土)「木庖丁をつくろう！」

【参加者数：58名】

④冬季企画展「はくふだでめぐる泉州の歴史と文化～カードで発掘！ 地域の宝もの～」

【入館者数：3,612名 95名/日】

ア. 開催概要 泉州の8館をめぐって集めるカードプログラム「はくふだ」は、地域の特徴ある博物館をめぐりながら歴史や文化に親しみ、地域の魅力を再発見する取り組みである。その参加館が当館に集結し、各館ごとの魅力ある展示を行った。

イ. 開催期間 令和2年1月18日(土)～3月29日(日)

【会期：38日間】

※3月3日から29日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

ウ. 印刷物 図録

エ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。2月2日は、はくふだ参加館の学芸員による展示解説を実施した。

1月18日(土)、2月2日(日)、15日(土)

【参加者数：合計69名】

(3) スポット展示

①スポット展示

特別展示室前において、「上牧遺跡」に関するスポット展示を実施した。

【入館者数：7,854名】

ア. 開催概要 「古墳出現期における井戸の祭祀－高槻市上牧遺跡の発掘調査成果－」

イ. 開催期間 平成31年3月19日(火)～令和元年5月19日(日)

【今年度会期：42日間】

②弥生プラザ

弥生時代遺跡の速報展示コーナーにおいて、下記の展示を実施した。

「池上曾根遺跡出土の弥生土器－府道池上下宮線の調査－」

平成30年10月4日(木)～令和元年5月6日(月祝)

「やってきた人・持ってきた土器！？ 萱振遺跡の井戸SE03出土遺物」5月9日(木)～11月8日(金)

「古墳時代の池上曾根遺跡」令和元年11月9日(土)～令和2年4月23日(木)

2. 講演会事業

(1) 特別展・企画展関連の講演会

①夏季特別展「白兔のクニへー発掘された因幡のあけぼのー」

7月27日(土)「発掘された因幡－山間に咲いた縄文の花と弥生のデザイナー－」

【参加者数：125名】

酒井雅代(鳥取県埋蔵文化財センター)・高尾浩司(鳥取県立むきばんだ史跡公園)

8月17日(土)「発掘された因幡－最古の前方後円墳と木簡が語る古代因幡－」

【参加者数：244名】

東方仁史(鳥取県立公文書館)・下江健太(鳥取県埋蔵文化財センター)

8月31日(土)「比較神話学が解き明かす「因幡の白兔」

【参加者数：218名】

門田真知子(鳥取大学名誉教授)

9月21日(土)「発掘された「倭人」たちとDNA分析－青谷上寺地遺跡の最新研究－」

【参加者数：294名】

篠田謙一（国立科学博物館）・濱田竜彦（鳥取県埋蔵文化財センター）

10月5日（土）「鳥取藩主池田家とその墓所」 【参加者数：125名】

伊藤康晴（鳥取市歴史博物館）・高橋章司（鳥取県文化財課）

②秋季特別展「北陸の弥生世界 わざとこころ」

11月3日（日祝）「日本海をめぐる北陸弥生社会の地域間交流」 【参加者数：130名】

（兼文化の日講演会）久田正弘（（公財）石川県埋蔵文化財センターグループリーダー）

11月9日（土）「弥生時代の表玄関、日本海ルート」 【参加者数：198名】

禰亘田佳男（当館館長）

11月30日（土）「北陸の拠点集落・八日市地方遺跡」 【参加者数：196名】

下濱貴子（小松市埋蔵文化財センター参事）

12月14日（土）「越のクニの鉄器普及－「柄付き鉄製ヤリガンナ」発見の衝撃－」 【参加者数：237名】

林 大智（（公財）石川県埋蔵文化財センター主幹）

③冬季企画展「はくふだでめぐる泉州の歴史と文化」

トークセッション

2月2日（日）「カードで発掘！ 地域の宝もの」 【参加者数：77名】

トーク1：「はくふだでつながる地域と歴史」 中尾智行（当館総括学芸員）

トーク2：「もずふるカードと世界遺産」 山田幸弘（藤井寺市世界遺産登録推進室室長）

トーク3：「マンホールカードからはじめる！フタ鑑賞のススメ」

森本庄治（みちくさ学会講師、マンホールナイト実行委員）

トーク4：「ダムカードの魅力」 冠 雅之（国土交通省近畿地方整備局河川部河川管理課課長）

（2）弥生時代講座 聞いてなっとく弥生の世界（近畿弥生の会との共催）

8月3日（土）「卑弥呼の遣使と青銅鏡」 【参加者数：167名】

實盛良彦（四條畷市教育委員会生涯学習推進課主任）

10月19日（土）「樹木と暮らす『弥生人』」 【参加者数：100名】

樋上 昇（（公財）愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター主任専門員）

12月7日（土）「変わる土器の形」 【参加者数：67名】

中川二美（東大寺境内史跡整備計画室研究員）

2月15日（土）「弥生時代の打製石器生産」 【参加者数：71名】

朝井琢也（川西市教育委員会事務局社会教育課事務員）

【4回参加者数計：405名】

（3）館長承継記念講演会

館長の交代に伴う記念講演会を開催した。

【参加者数：284名】

6月22日（土） 時代の変革と国家論－弥生のクニグニから律令国家へ－

「国家形成への道－弥生からの展望－」 禰亘田佳男（当館館長）

「古代国家の完成－大宝律令と飛鳥・藤原宮－」 黒崎 直（当館名誉館長）

鼎談 黒崎 直・禰亘田佳男・田邊征夫（当センター理事長）

（4）新旧学芸員承継ミニシンポジウム

学芸員の交代に伴い、挨拶をかねたシンポジウムを開催した。

【参加者数：70名】

6月1日(土) 講演①「専門の銭文鏡について—シンボライズされた銭—」高瀬裕太(当館学芸員)

講演②「博物館と文化財～はるかな理想～」井上知花(元当館学芸員、現大阪府教育庁)

コーディネーター 宮寄奈美加(当館学芸員)

(5) 弥生博 木曜大学・木曜大学大学院

木曜大学では、旧石器時代から縄文時代と、奈良時代から近世遺産までに焦点をあて、大学講義形式の講演会を実施した。木曜大学院においては、魏志倭人伝をテーマとした講演会を行った。

①木曜大学 テーマ「ピックアップ、弥生の前／古墳の後」

講師 黒崎 直(当館名誉館長 ●印)、禰亘田佳男(当館館長 ◆印)、秋山浩三(当館副館長)

前期【夏の講義】

6月6日(木) 「旧石器人の遊動と植民 恩原遺跡群」 【参加者数：152名】

◆6月13日(木) 「北の黒曜石の道 白滝遺跡群」 【参加者数：167名】

6月20日(木) 「奈良大和高原の縄文文化 大川遺跡」 【参加者数：165名】

7月4日(木) 「琵琶湖に眠る縄文文化 粟津湖底遺跡」 【参加者数：176名】

7月11日(木) 「日本海側最大級の縄文貝塚 小竹貝塚」 【参加者数：167名】

◆7月18日(木) 「南九州に栄えた縄文文化 上野原遺跡」 【参加者数：179名】

後期【秋の講義】

9月5日(木) 「古代祭祀とシルクロードの終着地 沖ノ島」 【参加者数：210名】

◆9月12日(木) 「律令体制を支えた地方官衙 弥勒寺遺跡群」 【参加者数：154名】

9月19日(木) 「中世瀬戸内の港町 草戸千軒町遺跡」 【参加者数：160名】

10月3日(木) 「天下統一の城 大坂城」 【参加者数：157名】

◆10月10日(木) 「銀鋌山王国 石見銀山」 【参加者数：160名】

●10月17日(木) 「古代国家形成の舞台 飛鳥宮」 【参加者数：216名】

【12回参加者数計：2,063名】

②木曜大学大学院 テーマ「魏志倭人伝を読む」第1期「考古学から倭人伝の国々を考える」

講師 禰亘田佳男(当館館長)

2月6日(木) 「オリエンテーション 魏志倭人伝とは」 【参加者数：229名】

2月27日(木)、3月5日(木)、3月19日(木) 【中止】

(6) 若き考古学徒、論壇デビュー！

コーディネーター 禰亘田佳男(当館館長)、秋山浩三(当館副館長)

第1回 1月25日(土) 【参加者数：76名】

「大阪湾岸における古墳時代中期土器製塩の展開と集団の諸相」

岩崎郁実(大阪大学文学部人文学科考古学専修4年次)

「エジプト古王国時代の湿地の場面」

白河巳桜子(近畿大学大学院総合文化研究科文化・社会学専攻修士課程1年次)

第2回 2月8日(土) 【参加者数：70名】

「縄文時代、続縄文時代の勾玉に関する考察」

西口健司（近畿大学文芸学部文化・歴史学科4年次）

「古墳時代前期から中期にかけての埋葬原理について」

竹崎舞子（大阪市立大学文学部哲学歴史学科4年次）

第3回 2月29日（土）

【中止】

3. 「府民が参加する博物館」事業

(1) やよいミュージアムコンサート

「音楽のきこえる博物館」のコンセプトのもとに、エントランスホールでさまざまなジャンルのコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会が行った。

運営委員：稲本 直（コンサート企画）、田中寛治（社会教育）、西川光子（ピアノ）

6月30日（日）「癒しの笛ヒーリング・ホイッスル～幻想音楽紀行～」 【参加者数：124名】

7月7日（日）「坂上麻紀ピアノコンサート」 【参加者数：176名】

9月1日（日）「四季折々の歌をピアノとウクレレの音色とともに」 【参加者数：228名】

9月7日（土）トワイライトコンサート「ザ・ワンダ墳ジャズナイト～スタンダードジャズをあなたに～」
【参加者数：137名】

9月15日（日）「ラフマニノフのピアノ作品～晩年の音風景～」 【参加者数：208名】

9月29日（日）「秋のピアノトリオの調べ」 【参加者数：177名】

10月13日（日）「いろんな曲を楽しもう！オカリナアンサンブル」 【参加者数：128名】

10月20日（日）「箏・三絃・尺八で奏でる日本の民謡・世界のメロディー」 【参加者数：142名】

10月27日（日）「アンサンブルから協奏曲まで」 【参加者数：199名】

11月10日（日）「笛吹きからの贈り物～芸術の秋だ！音楽だ！フルートだ！！～」 【参加者数：136名】

12月8日（日）「～1日限りのスペシャルアンサンブル～日曜日のクリスマス音楽会」
【参加者数：262名】

12月15日（日）「子どもたちとともに クリスマスを…Vol.4」 【参加者数：164名】

1月5日（日）「招福弦響！ 津軽三味線！ 新年はここから！」 【参加者数：242名】

1月12日（日）「新春～未来へ繋ぎ奏でる旋律達～」 【参加者数：176名】

2月9日（日）「二胡&シンセサイザー 遥響-HARUKA-「春の風音」」 【参加者数：255名】

2月16日（日）「埴美里サクソフォンコンサート～フランスの風～」 【参加者数：121名】

2月23日（日）、 3月8日（日） 【中止】

【16回参加者数計：2,875名】

(2) ミニギャラリー

エントランスホールで絵画作品、写真作品等の展示を行った。

①10月1日（火）～10月12日（土）「三田崇博写真展『時代を超えて 平成・令和の世界遺産』」
【入館者数：1,357名】

10月12日（土）トークイベント「世界遺産を旅して」 三田崇博 【台風接近のため中止】

②11月26日（火）～12月7日（土）「平地和弘作品展『一日一絵 縄文-弥生-古墳』」
【入館者数：1,072名】

③1月15日(水)～1月28日(火)「中根雅弘作品展『帰納的標本』」 【入館者数：696名】

(3) 第24回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵を募集し、優秀作品をエントランスホールで展示した。

開催期間：7月27日(土)～8月10日(土) 【入館者数：1,815名】

審査員：小灘一紀(画家・日展評議員)、石橋敏彦(元泉大津市立条南小学校校長)

① 応募期間：5月21日(火)～6月23日(日)

② 応募点数：238点

③ 表彰式：7月27日(土) 金賞「弥生時代の食事」福永つぼみ(大阪市立千本小学校6年)
金賞「民の祈り」西 悠希(泉大津市立誠風中学校2年)
銀賞2点、銅賞2点、佳作10点を含む入選54点

(4) ボランティア活動

館内外のワークショップ、展示室巡視、出前授業、職場体験、資料作成、道具作り、翻訳等の分野で活動を行った。

【活動日数：162日 協力者数：266名】

4月 【活動日数：22日 協力者数：40名】	10月 【活動日数：14日 協力者数：25名】
5月 【活動日数：22日 協力者数：29名】	11月 【活動日数：20日 協力者数：28名】
6月 【活動日数：22日 協力者数：34名】	12月 【活動日数：11日 協力者数：21名】
7月 【活動日数：8日 協力者数：15名】	1月 【活動日数：12日 協力者数：16名】
8月 【活動日数：8日 協力者数：22名】	2月 【活動日数：11日 協力者数：20名】
9月 【活動日数：12日 協力者数：16名】	3月 【活動日数：0日 協力者数：0名】

(5) 池上曽根史跡公園、池上曽根弥生学習館と一体となった事業

史跡公園で開催された「JAいずみの農業まつり」「音☆楽市」、学習館で開催された「ふれあいまつり」において、土器・銅鐸パズルのワークショップを実施した。

(6) 大学・企業・NPO 法人との協働

「夏休みフェスタ！」及び「関西文化の日」「冬のやよいミュージアム」において、奈良大学、日本電気計器検定所、(株)羅工房等の協力により多彩なワークショップ実施した。また、NPO「はにコット」と連携し、相互のワークショップイベントに出展した。

4. 「博物館 in school」事業—博学連携事業

(1) 小学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しを行うことで事前学習の一助とした。見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上に8種類のワークシートを用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員が展示解説を行い、展示室での学習を支援した。

①下見説明会 4月2日(火)12校 【参加者：31名】 4月3日(水)8校 【参加者：19名】

②団体見学 【87校 入館者数：6,391名】

<堺市>16校 <和泉市>13校 <泉大津市>5校 <高石市>5校 <忠岡町>2校
<岸和田市>3校 <泉南市>2校 <大阪市>25校 <枚方市>2校 <松原市>2校
<八尾市>2校 <貝塚市>1校 <羽曳野市>1校 <大阪狭山市>1校 <箕面市>1校

＜和歌山県和歌山市＞2校 ＜府立＞3校 ＜私立＞1校

(2) 中学校等の団体見学受け入れ

小学校以外に中学校、その他団体を受け入れ、学芸員が展示解説等を行い博物館における学習を支援した。

【入館者数：2,064名】

①中学校

【6校 入館者数337名】

②その他団体 国府第二保育園・大阪YMCA学院・三重県教育文化会館・和泉市社会福祉協議会年輪大学・NHK文化センター梅田教室など 【62団体】

(3) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。 【65団体132回 利用者数：4,439名】

(4) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業を行った。【162回 実績：2,861名】

＜堺市＞6校 ＜泉大津市＞7校 ＜和泉市＞1校 ＜岸和田市＞1校 ＜羽曳野市＞3校
＜大阪市＞14校 ＜八尾市＞1校 ＜枚方市＞2校 ＜守口市＞2校 ＜門真市＞1校
＜箕面市＞1校 ＜岬町＞1校

(5) 中学生の職場体験学習

中学生を各校2日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。

6月20日(木)～21日(金)	高石市立高石中学校	【5名】
9月18日(水)～19日(木)	和泉市立富秋中学校	【5名】
11月12日(火)～13日(水)	和泉市立石尾中学校	【4名】
11月13日(水)～14日(木)	高石市立取石中学校	【4名】
11月14日(木)～15日(金)	和泉市立郷荘中学校	【3名】
11月19日(火)～20日(水)	泉大津市立小津中学校	【3名】
11月19日(火)～20日(水)	忠岡町立忠岡中学校	【4名】
2月13日(木)～14日(金)	高石市立高南中学校	【5名】

(6) 大学生博物館実習

実習生等を受け入れ、博物館の実務などについて指導した。

5月12日(日)	大阪樟蔭女子大学「博物館経営論」	【28名】
5月12日(日)	近畿大学「博物館資料保存論」	【38名】
5月12日(日)	奈良大学「博物館見学実習」	【32名】
7月14日(日)	関西大学博物館「博物館実習(モニタリング調査)」	【31名】
7月23日(火)～7月27日(土)	博物館実習	【9大学21名】
10月13日(日)	神戸女子大学「博物館概論」	【49名】
10月27日(日)	阪南大学 解説実習	【20名】
12月8日(日)	神戸女子大学「博物館資料保存論」	【41名】

(7) 高校生の講座等

高校生の入門講座・バックヤードツアー等を実施し、学習機会を提供した。

5月15日(水)	大阪府立貝塚高等学校出張講義	【10名】
----------	----------------	-------

7月24日(水)～8月31日(土)	大阪府立泉陽高等学校「夏休みの宿題：博物館見学」	【68名】
8月2日(木)	大阪府立今宮高等学校体験学習	【8名】
8月6日(火)・8日(木)・16日(金)	大阪府立泉陽高等学校「バックヤードツアー」	【54名】
8月9日(金)	高校生のための博物館ツアー	【68名】
10月17日(木)	和光高等学校「日本古代史研究旅行」	【28名】

(8) 博学連携セミナー

教員を対象に授業などの学習活動に活用してもらった内容の研修を実施し、意見交換の場を設けて連携を深めた。

8月8日(木)	小中学校教諭対象	【16名】
8月9日(金)	高校教諭対象	【17名】

(9) 教員の研修、研究団体の受け入れ

和泉市養護教諭部会、和泉市人権教育研究協議会、和泉市小学校校長会等の団体利用を受け入れた。

(10) 子ども一日館長

近隣小学校の児童を一日館長に任命し、任命式、宝べやツアー等の行事を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館により中止となった。

3月22日(日)	和泉市立池上小学校 (任命式、宝べやツアー)	【中止】
----------	------------------------	------

5. 「どこでも博物館」事業

(1) 出張展示

①大阪府立中央図書館	『卑弥呼の時代を描こう』優秀作品展	【入館者数：47,196名】
開催期間	8月20日(火)～9月16日(月祝)	
②大阪府立狭山池博物館	「令和元年度ミニ展示『古代の装身具ー古鏡の世界ー』」	
開催期間	1月22日(水)～3月8日(日)	【入館者数：7,580名】

(2) サテライトミュージアム

①和泉市池上曾根弥生情報館	当館所蔵資料の展示	【入館者数：63,065名】
開催期間	4月2日(火)～3月31日(火)	
②泉大津市池上曾根弥生学習館	当館所蔵資料の展示	【入館者数：11,243名】
開催期間	4月2日(火)～3月31日(火)	

(3) 学芸員の出張講演・講座

当館学芸員等が、各所から依頼を受け、講演・解説等を行った。

①きしわだ自然資料館	連続講座・タコマスターへの道第2回	【参加者数：2名】
7月28日(土)	「考古学から見たタコツボ」 塚本浩司(当館総括学芸員)	
②吉野ヶ里歴史公園	特別企画展「よみがえる邪馬台国」特別記念フォーラム	【参加者数：73名】
9月29日(日)	「池上曾根から〈卑弥呼・邪馬台国が見えてきた…〉」 秋山浩三(当館副館長兼学芸課長)	
③唐古・鍵考古学ミュージアム	「ヤマト弥生時代研究」講座	【参加者数：54名】
10月6日(日)	「発見された弥生分銅ー計量と文明ー」 中尾智行(当館総括学芸員)	
④阪南市立文化センター	泉州アートサミット	【参加者数：140名】

10月26日(土) パネルディスカッション「つながるミュージアム 地域における博物館のプレゼンス」
中尾智行(当館総括学芸員)

⑤大阪学院大学 【参加者数:1名】

11月2日(土)「弥生時代の漁業と塩づくり」 塚本浩司(当館総括学芸員)

⑥NPO法人泉州てらこや 【参加者数:60名】

12月9日(月)「てらこやハローワーク」 禰亙田佳男(当館館長)・宮寄奈美加(当館学芸員)

(4) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出展した。

①ゴールデンウィークはしおんじやま古墳 de 楽しもう! 5月2日(木祝) 【参加者数:32名】

内容・連携先 「銅鐸せっけんづくり」 八尾市立しおんじやま古墳学習館

②ふれあいまつり 5月5日(日祝) 【参加者数:76名】

内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 池上曾根弥生学習館

③にぎわいマルシェ 6月24日(日) 【参加者数:28名】

内容・連携先 「銅鐸風鈴づくり」 さかい利晶の杜

④ハスフェスタ 7月26日(金) 【参加者数:38名】

内容・連携先 「銅鐸風鈴づくり」 泉南市埋蔵文化財センター

⑤子育て応援フェア 7月30日(火) 【参加者数:113名】

内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 大阪府住宅供給公社

⑥関大キッズミュージアム 8月7日(金) 【参加者数:224名】

内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 関西大学博物館

⑦まなぼスタジオ 8月11日(日祝) 【参加者数:7名】

内容・連携先 「銅鐸せっけんづくり」 あべのハルクス

⑧山の日まつり 8月11日(日祝) 【参加者数:25名】

内容・連携先 「銅鐸風鈴づくり」 きしわだ自然資料館

⑨弥生時代を学ぼう! 8月14日(水) 【参加者数:59名】

内容・連携先 「講義・銅鐸風鈴づくり・もみすり体験」 エキスポシティ エキスポラボ

⑩夏のこどもチャレンジ 8月24日(土) 【参加者数:3名】

内容・連携先 「勾玉けしごむづくり」 近鉄文化サロン阿倍野

⑪「卑弥呼の時代を描こう」優秀作品展関連イベント 9月1日(日)・9月7日(土) 【参加者数:75名】

内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 大阪府立中央図書館

⑫I COMみゆぜコット 9月4日(水) 【参加者数:500名】

内容・連携先 京都府立京都学・歴史館

⑬高校軽音フェスタ in 弥生の杜FINAL 10月5日(土)・10月6日(日) 【参加者数:105名】

内容・連携先 「土器パズル」 池上曾根史跡公園

⑭泉州アートサミット2019 10月26日(土) 【参加者数:98名】

内容・連携先 「弥生の台所」 阪南市立文化センター

⑮泉大津さんま祭り 11月3日(日祝) 【参加者数:110名】

- 内容・連携先 「ストロートンボづくり」 泉大津さんま祭り実行委員会
- ⑯令和元年度風土記まつり 11月3日(日祝) 【参加者数：93名】
- 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 和歌山県立紀伊風土記の丘
- ⑰令和元年度JAいずみの農業まつり 11月17日(日) 【参加者数：120名】
- 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 いずみの農業協同組合
- ⑱第9回 come come *はにコット 11月17日(日) 【参加者数：141名】
- 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 高槻市今城塚古墳公園
- ⑲冬の古代体験～特別な日曜日～ 12月15日(日) 【参加者数：31名】
- 内容・連携先 「銅鐸せっけんづくり」 鳥取県立むきばんだ史跡公園
- ⑳森のどんぐりまつり 2月1日(土) 【参加者数：53名】
- 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 泉南市埋蔵文化財センター

6. 「体験する博物館」事業

(1) 他館との連携事業

冬季企画展「はくふだでめぐる泉州の歴史と文化」をはくふだ参加館の協力を得て開催した。また、「はくふだまつり&冬のやよいミュージアム」において、はくふだ参加館によるワークショップを実施した。そのほか、泉州紀北ミュージアムネットワーク加盟館と連携し、「夏休みフェスタ!」「関西文化の日」等の催しにおいて、多彩なワークショップを実施した。

(2) 史跡公園の活用

博物館実習のプログラムに取り入れるなどして、学芸員の解説による史跡公園の見学を実施した。また当公園を会場とした「農業まつり」等の催しに、ワークショップブースを出展した。

(3) みんないっしょに考古楽(子どもファーストデイ企画)

大阪府・大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。下記の内容と「土器・銅鐸パズル」を併せて実施した。 【参加者数:合計578名】

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 4月20日(土)「弥生の米つき体験」 | 5月18日(土)「ねらえ!ピッチング古代」 |
| 6月15日(土)「石器を使ってみよう」 | 7月20日(土)「銅鐸風鈴をつくろう」 |
| 8月17日(土)「弥生博の宝べやを探検しよう」 | 9月21日(土)「弥生の火おこし体験」 |
| 10月19日(土)「弥生の弓矢体験」 | 11月16日(土)「アート勾玉づくり」 |
| 12月21日(土)「考古楽カルタ」 | 1月18日(土)「土器をさわってみよう」 |
| 2月15日(土)「弥生人と考古楽カードバトル」 | 3月21日(土)「ストロートンボを作ろう」 【中止】 |

(4) 体験学習

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、関係企業、団体、博物館等の協力を得てワークショップイベントを開催した。

- ①夏休みフェスタ! 8月18日(日) 【参加者数：計1,028名】
- ②「関西文化の日」ワークショップ 11月16日(土) 【参加者数：計686名】
- ③はくふだまつり&冬のやよいミュージアム 2月2日(日) 【参加者数：計1,103名】

④弥生フェスティバル 3月21日(土)・22日(日)

【中止】

7. 企業との連携事業

(1) 遺跡見学ツアー

民間旅行会社と提携し、特別展関連の遺跡を見学する考古学ツアーを計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

「鳥取考古学ツアー」3月17日(火)～3月19日(木)

【中止】

(2) 学芸員の出張講演・講座

近鉄文化サロン でかける博物館講座 考古学からみる古代の生活6

7月18日(木)「弥生時代、大阪の武器と戦い」塚本浩司(当館総括学芸員) 【参加者数:71名】

9月19日(木)「弥生のはじまりー河内と因幡の諸相ー」中尾智行(当館総括学芸員) 【参加者数:79名】

11月21日(木)「代替わり」の考古学 禰宜田佳男(当館館長) 【参加者数:56名】

1月16日(木)「鏡の変遷」 宮寄奈美加(当館学芸員)・高瀬裕太(当館学芸員) 【参加者数:70名】

3月19日(木)「古代びとのあの世への持ち物」秋山浩三(当館副館長兼学芸課長) 【中止】

8. 広報普及事業

(1) ミュージアムカレンダー

館行事を広く周知するため、行事予定をカレンダーにして作成し、関係諸機関に配付した。

(2) 要覧作成

『平成30年度弥生文化博物館要覧』(令和2年3月31日発行)を作成し、関係諸機関に配付した。

(3) 広報活動の活発な展開

- ・広域広報を目的として、特別展主催者名義使用の新聞社等の紙面に特別展・企画展の広告を掲載した。
- ・各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。
- ・和泉市、泉大津市の協力により、広報誌に当館の行事案内等を掲載した。また、和泉市いずみの国観光おもてなし処(和泉府中、和泉中央)において、各催しのチラシ等を配布し、和泉市の観光情報サイト「SATOMATI IZUMI」に当館の催し情報等を掲出する等の広報活動を実施した。

(4) インターネットホームページ

ホームページおよびフェイスブック、インスタグラムによって、特別展・企画展、催し等に関する情報発信を行った。

【年間アクセス件数:227,420件】

(5) 動画等の配信

館のマスコットキャラクターが弥生文化や当館の展示物、催し等を紹介する4コマ漫画をホームページに連載し、インターネット上で動画の配信を行った。

(6) 弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地域の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、ワークショップイベントとシンポジウム等からなる弥生フェスティバルを計画

したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う臨時休館のため中止となった。

ア. 開催期間 3月21日(土)、22日(日)、28日(土) 【中止】

イ. シンポジウム 3月28日(土) 【中止】

「『再考「弥生時代」－農耕・海・集落－』を考える－関東からの問題提起にこたえる－」

ウ. 中学生フレッシュコンサート 3月22日(日) 和泉市立郷荘中学校・高石市立取石中学校 【中止】

9. 研究事業

(1) 大学、教育委員会等研究者と学術交流を行った。 【194名／うち海外研究者15名】

(2) 他博物館、大学、研究機関、学会、研究会、企業などと連携した研究活動を行った。

ア. 弘前大学人文社会学部北日本考古学研究センターとの共同研究へ参加した。

「出土米の形体・DNA分析調査」

イ. 東大阪市教育委員会と株式会社相互技研が進める3次元データの活用(VR博物館)のデモを当館で実施した。また、同教育委員会の協力を得て、池上曾根遺跡の鳥形木製品の三次元計測を実施した。

10. 資料調査・収集・製作事業

(1) 図書資料収集

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。また、国際ソロプチミスト大阪－いずみからの寄附によって、専門図書を購入し、開架図書の充実を図った。

(2) 館蔵資料の貸出し

当館所蔵の資料(実物・復元・写真・映像等)を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。 【資料5件・70点／写真65件・125点】

11. サービス事業

(1) マーケットリサーチの実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

【意見と対応】

- ・講演会で出雲をとり上げた際のアンケートにおける、日本海域の遺跡に関心を示す意見。
⇒参考意見として慎重に検討し、今年度の特別展・企画展のテーマを選択し、講演会のテーマを決定した。
- ・展示室やホールが冷えすぎているとの意見。
⇒手動による空調機の調整を行い、室温を上昇させる対策をとり見学環境を改善させた。

(2) 障がい者等への利用援助

障がい者が参加できるワークショップ「土器銅鐸パズル」等を実施したほか、障がい者就職支援施設の入居者を対象にアート勾玉WSを実施した。ミュージアムコンサートに際しては、視覚障がい者への音声ガイド付コンサートプログラムを準備した。

(3) 音声ガイドの無料貸出

展示資料の理解をより深めてもらうため、日本語による音声ガイドと英語版音声ガイド及び館キャラクター「カイト」と「リュウさん」による日本語・英語・中国語・韓国語音声ガイド（いずれも常設展示対応）を用意し、無料で貸し出しを行った。

（４）子どもにわかりやすい解説

館キャラクター「カイト」と「リュウさん」による弥生時代を解説する「4 コママンガ」と「弥生博アニメ」をホームページ及び館内のデジタルサイネージに掲載した。また、VRブースにおいて、遺跡VRによる遺跡情報を提供した。その他、ICタグをかざすだけの簡便なアクセス方法を利用した展示巡回システムによる、ゲーム感覚で学べるコンテンツの提供を継続した。

12. 研修事業

（１）学芸研修

日本ミュージアム・マネジメント学会研究会（大阪市立自然史博物館/11月24日（日））に、学芸課職員が参加し、その資質向上に取り組んだ。研修終了後、館職員に内容を周知し、共有を図った。

（２）人権研修・消防訓練

人権啓発用ソフト（教材）の視聴によって、職員の人権研修を実施した。3月10日（火）、12日（木）消防計画に基づいて、和泉市消防署の指導による自衛消防訓練研修を実施した。12月26日（木）

13. 施設管理事業

（１）日常的管理

指定管理共同企業体の近鉄ビルサービスと共に、施設管理年間計画を策定し、定期点検等、施設管理を行った。また、経年劣化等により修繕が必要な箇所を抽出し、所管課に改善を提案した。

（２）修繕

急を要するものや、来館者の満足度向上に資すると思われるものについては、下記の修理等を実施した。

- ア. 屋上防水工事（特別展示室および第二展示室のバックヤード部分）
- イ. 地下電気室内高圧受電部の真空遮断機交換
- ウ. 非常用自家発電設備の循環ポンプ交換
- エ. 常設展示室内の資料映像放映用機器（壁面モニター）更新
- オ. 正面入り口自動扉（外側）のエンジン部交換
- カ. 監視カメラ用録画装置の交換

14. 入館者数及び入館料一覧表

(令和元年度)

区 分	入館者数 (名)			入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	2,545	5,492	8,037	478,140	73
割合 (%)	23.5	20.0	21.0		
ミュージアムギャラリー	1,807	7,318	9,125	442,180	50
割合 (%)	16.7	26.6	23.8		
夏季特別展	3,515	7,091	10,606	1,330,940	66
割合 (%)	32.5	25.8	27.7		
秋季特別展	1,925	5,005	6,930	684,170	50
割合 (%)	17.8	18.2	18.1		
冬季企画展	1,035	2,577	3,612	287,710	38
割合 (%)	9.5	9.4	9.4		
合 計	10,827	27,483	38,310	3,223,140	277
割合 (%)	100.0	100.0	100.0		

<年度比較>

平成 30 年度実績	52,401	5,073,390	299
平成 29 年度実績	45,341	3,575,950	305
平成 28 年度実績	55,041	4,713,040	305

※臨時休館

8月15日(木)の1日間	台風10号接近のため
10月12日(土)の1日間	台風19号接近のため
12月26日(木)～27日(金)の2日間	施設点検のため
3月3日(火)～31日(火)の25日間	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1. 展示公開事業

(1) 常設展示

「日本古代国家の形成過程と国際交流をさぐる」をメインテーマに、「近つ飛鳥と国際交流」「古代国家の源流」「現代科学と文化遺産」の3ゾーンで大阪府を中心とする古墳時代から飛鳥時代の古墳文化をビジュアルに展示した。

(2) 特別展・企画展

①春季企画展「寛弘寺古墳群と紺口県主—古墳時代の地域と王権—」

【総入館者数 20,772 名・展示室入館者数 7,378 名・展示室 121 名／日】

ア. 開催趣旨 河南町に所在する寛弘寺古墳群は、古墳時代前期から終末期まで連綿と古墳が営まれた、南河内地域の在地集団の古墳群と考えられる。これまでに数多くの発掘調査が行われるとともに、「県主」という地域の政治勢力を考える素材ともなってきた。本展では寛弘寺古墳群の調査成果を中心に、南河内地域の歴史的な歩みを伝えた。

イ. 開催期間 4月27日(土)～7月7日(日) 【会期：63日間】

ウ. 印刷物 小冊子『寛弘寺古墳群を考える』、リーフレット

エ. 学芸員・音声ガイドによる展示解説

<展示解説>

実施日：4月28日(日)・5月1日(水・祝)・5月6日(月・祝)・5月26日(日)

・6月15日(土)・6月30日(日)

【参加者数：合計126名】

<音声ガイド>随時貸出(無料)

オ. 現地見学会 6月1日(土) 現地見学会「三野県主と生駒西麓の古墳」 【参加者数：50名】

②夏季特別展「百舌鳥・古市古墳群と土師氏」

【総入館者数 14,968 名・展示室入館者数 7,389 名・展示室 147 名／日】

ア. 開催趣旨 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群で、古墳築造に大きくかかわったとされる集団として「土師氏」をあげることができる。近年の発掘調査では土師氏の活動を示すさまざまな考古資料が明らかになりつつあるとともに、文献史料にみられる土師氏の軌跡を裏付ける研究成果もみられるようになっている。本展では最新の調査、研究成果にもとづき、古代において土師氏が果たした役割を考えた。

イ. 開催期間 8月3日(土)～9月29日(日) 【会期：50日間】

ウ. 印刷物 図録『百舌鳥・古市古墳群と土師氏』、リーフレット

エ. 学芸員・音声ガイドによる展示解説

<展示解説>

実施日：8月4日(日) 8月17日(土) 8月31日(土) 9月7日(土) 9月21日(土)

【参加者数合計136名】

<音声ガイド>随時貸出(無料)

オ. 現地見学会 9月15日(日) 「奈良北部、秋篠・菅原の地に土師氏を求めて」

【参加者数：85名】

カ. 開会式 地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待して実施した。

③秋季企画展「ヤマト王権とその政治拠点－政治拠点と経済拠点－」

【総入館者数：13,955名、展示室入館者数：5,571名、展示室126名／日】

ア. 開催趣旨 大王の宮を中心とするヤマト王権の政治拠点については、考古学あるいは文献史学の両面において関心の高いテーマである。政権交替論とも関連してさまざまな意見があり、議論が続けられている。本展では古墳時代の各段階を切り取り、ヤマト王権の政治拠点をどのように考えることができるのかについて考古学的な調査、研究成果から考えた。

イ. 開催期間 10月12日（土）～12月1日（日） 【会期：44日間】

ウ. 印刷物 図録『ヤマト王権のその政治拠点』、リーフレット

エ. 学芸員・音声ガイドによる展示解説

＜展示解説＞

実施日：10月20日（日）・11月4日（月・振）・11月24日（日）・12月1日（日）

【参加者数：合計142名】

＜音声ガイド＞随時貸出（無料）

④冬季企画展「歴史発掘おおさか 2019－大阪府発掘調査最新情報－」

【総入館者数：8,326名、展示室入館者数：1,825名、展示室77名／日】

ア. 開催趣旨 大阪府内では多くの発掘調査が実施されている。最新の調査成果から遺跡を身近に感じ、私たちの街、大阪の魅力を再発見する展示会とした。

イ. 開催期間 2月1日（土）～3月15日（日）

※3月3日から15日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

【会期：32日間】

ウ. 印刷物 図録『歴史発掘おおさか2019』、リーフレット

エ. 学芸員・音声ガイドによる展示解説

※新型コロナウイルス感染症防止のための臨時休館により3回を中止

実施日：2月9日（日）

【参加者数：27名】

（3）連携展示・スポット展示

滋賀県立安土城考古博物館と連携し、同館の資料を展示した。

ア. 開催概要 「黒田長山4号墳の短甲」

イ. 開催期間 7月20日（土）～9月29日（日）

【入館者：7,389名、会期：50日】

（4）百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録推進事業への協力

関連テーマを設定した展覧会をするとともに、関連遺跡資料を展示した。また、館外での関連事業にも参加した。

①古墳時代まつり 5月3日（金・祝）

【参加者数：786名】

「近つ飛鳥ウォークラリー」「森の工作」「古墳スタンプで絵葉書づくり！・はにわパズル」「古墳グッズをつくろう！」「古代衣裳体験」「指令書にチャレンジ！」「空から古墳を見てみよう！」

協力機関：堺市博物館・藤井寺市世界遺産登録推進室・羽曳野市世界遺産登録推進室

②白石太一郎名誉館長講演会 7月14日(日) 【参加者数:298名】

「百舌鳥・古市古墳群の語るもの」百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録に向けて

③わくわくもずふる体験・古市古墳群編 8月4日(日) 【参加者数:564名】

「指令書にチャレンジ」「手のひらで感じてみよう古市古墳群」「古墳クイズに挑戦!」「こふん講座1 古市古墳群を学ぼう!」「古墳のお宝をつくろう!」

協力機関：[共催] 藤井寺市世界遺産登録推進室・羽曳野市世界文化遺産推進室

[協力] 関西大学総合情報学部堀雅洋研究室

④わくわくもずふる体験・百舌鳥古墳群編 8月17日(土) 【参加者数:309名】

「指令書にチャレンジ」「古墳群を学ぼう!古墳のお宝をつくろう」「出土品のしおりを作ろう」「須恵器にtouch(タッチ) 須恵器をlook」「古代のナイフ「サヌカイト」を使ってみよう!」「犬形埴輪「梅ちゃん」のパズルに挑戦」

協力機関：[協力] 堺市(文化観光局文化部文化財課・文化観光局世界文化遺産推進室・堺市博物館)

⑤百舌鳥古市古墳群世界遺産登録紹介イベント 11月1日(金)・4日(月・祝)

場所 関西国際空港到着ロビー

【参加者数:約400名】

主催 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議事務局

2. 講演会事業

(1) 特別展・企画展関連の講演会

特別展・企画展のテーマに沿って、来館者の歴史文化に対する関心を高めるなど、生涯学習のきっかけづくりのために、講演会を開催した。

①春季企画展「寛弘寺古墳群と紺口県主ー古墳時代の地域と王権ー」

5月12日(日) 「三島県主と摂津の古墳」森田克行(高槻市立今城塚古代歴史館特別館長)

【参加者数:133名】

6月2日(日) 「群集墳の展開とヤマト王権」右島和夫(群馬県立歴史博物館館長)

【参加者数:161名】

6月16日(日) 「紺口県主と「県主」研究の現在」館野和己(当館館長)

【参加者数:162名】

②夏季特別展「百舌鳥・古市古墳群と土師氏」

8月25日(日) 「古代の土師氏とその後」館野和己(当館館長)

【参加者数:294名】

9月8日(日) 「埴輪伝承と土師氏」辰巳和弘(元同志社大学教授)

【参加者数:200名】

9月22日(日) 「土師氏の埴輪生産と王権、そして地域豪族」高橋克壽(花園大学文学部教授)

【参加者数:210名】

9月16日(月・祝) ミニシンポジウム

【参加者数:314名】

「古市古墳群の土師氏」 上田 睦(藤井寺市政策企画部世界遺産登録推進室 参事)

「奈良市菅原・秋篠地域における土師氏の動向ー埴輪と陶棺の検討からー」

鐘方正樹(奈良市埋蔵文化財調査センター 所長補佐)

「文字資料からみた土師氏の動態」 溝口優樹(大阪大学大学院文学研究科 助教)

③秋季企画展「ヤマト王権とその政治拠点—政治拠点と経済拠点—」

10月27日(日)「政治拠点の構造と王権の経済戦略」

森本 徹(公財)大阪府文化財センター主査 【参加者数:150名】

11月17日(日)「日本古代のミヤコ—動く宮から動かぬ京へ—」 館野和己(当館館長)

【参加者数:212名】

(2) 近つ飛鳥入門講座・土曜講座

①入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』」

常設展示の内容に基づいた基礎的な講座として実施した。毎月第2土曜日を基本として実施した。

【合計10回、参加者数:453名】

第130回4月13日(土) 「石棺の種類と産地」 森本 徹(公財)大阪府文化財センター主査

第131回5月11日(土) 「X線でみる考古資料」 東藤隆浩(当館学芸員)

第132回6月8日(土) 「埴輪と笠形木製品」 廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長)

第133回7月13日(土) 「三角縁神獣鏡のみかた」 市村慎太郎(当館総括学芸員)

第134回8月10日(土) 「銀印と倭国王」 森本 徹(公財)大阪府文化財センター主査

第135回9月14日(土) 「器財はにわの種類と役割」 平井洸史(当館学芸員)

第136回11月9日(土) 「年輪から読み取る時間」 東藤隆浩(当館学芸員)

※10月12日(土) 臨時休館のため延期し第137回と同一日に実施

第137回11月9日(土) 「横穴式石室を探る」 市村慎太郎(当館総括学芸員)

第138回1月11日(土) 「古墳時代の土木技術」 平井洸史(当館学芸員)

第139回2月8日(土) 「木簡にみる古代日本」 廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長)

第140回3月7日(土) ※新型コロナウイルス感染症防止のための臨時休館により中止

②土曜講座「オーサカ発 調査研究最前線」

学芸員による研究成果など、最新の研究成果を伝える場として開催する。毎月第4土曜日を基本として実施した。

【合計9回、参加者数:588名】

第121回4月27日(土) 「寛弘寺の前期古墳と南河内」 市村慎太郎(当館総括学芸員)

第122回5月25日(土) 「百舌鳥・古市古墳群の時代と寛弘寺古墳群」

廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長)

第123回6月22日(土) 「寛弘寺古墳群の後期古墳」

森本 徹(公財)大阪府文化財センター主査

第124回7月27日(土) 「花粉分析からみる古墳時代の環境」 東藤隆浩(当館学芸員)

第125回8月24日(土) 「奈良北部の土師氏伝承と考古学」 市村慎太郎(当館総括学芸員)

第126回9月28日(土) 「古墳時代の職能集団と土師氏」 廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長)

第127回10月26日(土) 「初期ヤマト王権の政治拠点を探る」 市村慎太郎(当館総括学芸員)

第128回11月23日(土) 「王権の政治変動と経済拠点」 廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長)

第129回1月29日(土) 「鉄器からみた河内の群集墳」 平井洸史(当館学芸員)

第130回2月22日(土) ※新型コロナウイルス感染症防止のためのイベント自粛により中止

第131回3月21日(土) ※新型コロナウイルス感染症防止のための臨時休館により中止

(3) その他の講演会事業

- ①白石太一郎名誉館長講演会 7月14日(日) 【参加者数:298名】
「百舌鳥・古市古墳群の語るもの」百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録に向けて
- ②安藤忠雄氏講演会 6月23日(日) 「生きる力」安藤忠雄(建築家) 【参加者数:451名】

3. 「府民が参加する博物館」事業

(1) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場を利用して、音楽会を開催し、親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場として多くの方にご来館いただいた。恒例行事として、地元高校生の軽音楽部の発表の場、他学校との交流の場となることを目的とし、春季、秋季の2回を開催した。

4月29日(日・祝)

<出演高校>大阪府立長野高等学校、初芝富田林高等学校、大阪府立大塚高等学校、大阪府立富田林高等学校、大阪府立生野高等学校、大阪府立河南高等学校 【参加者数:171名】

11月3日(土・祝)

<出演高校>大阪府立藤井寺高等学校、大阪府立河南高等学校、大阪暁光高等学校、大阪府立富田林高等学校、大阪府立生野高等学校、大阪府立大塚高等学校 【参加者数:150名】

(2) 古墳時代まつり「春の博物館であそぼう」

豊かな自然を持つ風土記の丘を活用し、ウォークラリー・勾玉づくり・森の工作・古代衣裳着用体験などを開催した。今年度は、世界文化遺産への登録勧告がなされたこともあり、堺市博物館・藤井寺市世界遺産登録推進室・羽曳野市世界遺産登録推進室などの関連諸機関の協力を仰ぎ、「世界文化遺産」「百舌鳥・古市古墳群」「古墳」などに関わる催しを大規模に実施した。

5月3日(金・祝)

【参加者数:786名】

「近つ飛鳥ウォークラリー」「森の工作」「古墳スタンプで絵葉書づくり!・はにわパズル」「古墳グッズをつくろう!」「古代衣裳体験」「指令書にチャレンジ!」「空から古墳を見てみよう!」

(3) うめまつり

2月29日(土)・3月1日(日) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためイベント等自粛
展示室無料開放のみ実施。

(4) さくらまつり

3月28日(土)・3月29日(日) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための臨時休館により中止

(5) 博物館バックヤード探検ツアー

親子、また一般を対象に、博物館により親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

5月4日(土) 【25名】 7月15日(月・祝) 【21名】 8月12日(月・振) 【64名】

9月16日(月・祝) 【23名】 11月10日(日) 【12名】 2月11日(火・祝) 【25名】

【参加者数:合計170名】

(6) 風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施し

た。

5月5日(日・祝)

【参加者数：15名】

(7) 近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援、生涯学習の発表の場として、絵画・写真等の展示受け入れて実施した。

3月28日(木)～4月6日(土) 「太子切り絵サークル春の作品展」 【入館者数2,884名】

4月9日(火)～4月27日(土) 「河内国柏原村と柏原船」 【入館者数1,547名】

4月28日(土)～5月6日(日) 「ふるさと俳画展」 【入館者数2,803名】

5月8日(火)～5月19日(土) 「太子町水彩画クラブ展」 【入館者数3,184名】

6月1日(土)～6月30日(日) 「墨に学ぶ」 【入館者数7,853名】

8月14日(水)～9月29日(日) 「府立3博物館紹介」 【入館者数12,532名】

10月6日(日)～10月27日(日) 「このこのアート展」 【入館者数4,616名】

11月14日(木)～11月28日(木) 「古民家を描こう」 【入館者数4,165名】

1月11日(土)～2月5日(水) 「安宿郡内の古墳と寺院一七・八世紀の近つ飛鳥一」
【入館者数4,587名】

2月5日(土)～2月15日(土) 「埴輪の体温一時を超越するカー」 【入館者数2,520名】

(8) ボランティア活動、地域ボランティア・各種団体との協働

講演会・現地見学会・れきしウォーク、こどもファーストデイ等の定例行事のほか、もずふる体験、館外での各種体験などの事業等、幅広い分野への支援活動を行った。また、南河内地域の観光ボランティアグループとの共同事業を推進した。

①ボランティア活動 登録者数15名 【活動日数：29日 協力者数：94名】

②地域ボランティア・各種団体との協働

南河内自然と子どもネットワーク「風土記の丘観察会」

4月20日(土) 7月27日(土) 10月5日(土) 1月25日(土) 【参加者数：121名】

NPO法人フィールドミュージアムトーク史遊会

2月2日(日)でかける博物館講演会「古墳築造と土木技術」 【参加者数：482名】

4. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

(1) 校外学習受入れ・体験学習

校外学習を積極的に受入れる。展示物の見学だけではなく、ペーパークラフト・勾玉工房等のワークショップおよび当館展示品の修羅(古墳時代の運搬具)の復原模造品を使った体験学習、風土記の丘(一須賀古墳群)のウォークラリーを実施した。

①小学校 <富田林市>向陽台・喜志 <堺市>黒山 <千早赤阪村>赤阪・小吹台 <松原市>松原東 <寝屋川市>第五 <四條畷市>四條畷東 <守口市>八雲 <枚方市>山田・藤坂 <岸和田市>山直北 <伊丹市>鴻池 <御所市>葛

【14校 32クラス 入館者数：1,047名】

②中学校 <太子町>太子 <東大阪市>英田 <八尾市>八尾支援学校(中等部) <東京都調布

市>田園調布学園 <東京都八王子市>穎明館中学校

【5校 15クラス 入館者数：349名】

③高等学校 <柏原市>関西福祉科学高校 <羽曳野市>西浦支援学校(高等部) <八尾市>八尾支援学校 <堺市>泉北支援学校(高等部) 【4校 20クラス 入館者数：238名】

(2) 出前授業

小学校、中学校、高等学校に教育専門員・学芸員が出向き、ワークショップ(体験学習)を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努め、館に親しみを持ってもらうように努めた。中学校・高等学校ではキャリア教育の一環として博物館の仕事の紹介なども行った。 【44校 45回 実績：2,670名】

①小学校 <箕面市>豊川南 <大阪市>豊仁・敷津・依羅・東桃谷・南百済・加賀屋・焼野・大国・森ノ宮・南市岡・太子橋・桃陽・柏里・南港光・巽南・平野・神路 <貝塚市>二色
<河内長野市>川上・高向 <高槻市>清水 <枚方市>伊加賀・樟葉北・明倫
<千早赤阪村>赤阪 <八尾市>高見南 <堺市>黒山・さつき野学園・竹城台・神石
<富田林市>喜志・向陽台・富田林 <守口市>さくら・八雲 <伊丹市>鴻池
<藤井寺市>藤井寺西 <羽曳野市>古市 <摂津市>鳥飼東

②中学校 <大東市>北条 <高石市>羽衣学園

③高等学校 <大阪市>八洲学園 <松原市>府立松原

(3) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促した。近隣関連施設とも含めたコースの提案などを含めた『校外学習／出前授業のご案内』を改訂し印刷を行った。また、校長会において校外学習の利用促進のための案内活動等を行った。

1月15日(水) 大阪府・大阪市小学校校長会

(4) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。

10月7日(月) JICA 研修令和元年博物館コース〔国立民族学博物館〕海外博物館関係者

(5) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成し配布した。今年度は、百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録されたことなどから、関連機関とも連携して展示や「世界遺産」、「百舌鳥・古市古墳群」に関わるワークシートを作成し、関連イベント等で児童生徒に配布した。

「指令書にチャレンジ!」「空から古墳を見てみよう!」「手のひらで感じてみよう古市古墳群」

「古墳クイズに挑戦!」「こふん講座1古市古墳群を学ぼう!」「須恵器に touch (タッチ) 須恵器を look」

(6) 大学生博物館学実習および芸術大学実習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。また、大阪芸術大学のさまざまな実習の場として支援した。

4月5日(金) 大阪芸術大学文芸学科「フレッシュマンキャンプ」

5月11日(土) 大阪大谷大学歴史文化学科「新入生見学会」

8月1日(木) 大阪府立今宮高等学校「考古学入門」

8月8日(木)～12日(日)「博物館実習」

近畿大学・大阪大学・龍谷大学・同志社大学・奈良女子大学

10月26日(土) 奈良大学「博物館見学」

11月1日(金) 四天王寺大学「博物館実習」

11月1日(金) 大阪芸術大学映像学科「博物館見学」

1月16日(土) 大阪芸術大学ガラス工芸学科(三浦先生)「模写実習」

2月5日(金)～15日(月) 大阪芸術大学芸術計画学科「埴輪の体温一時を超越する力」

(7) 大学生・高校生・中学生の職場体験学習

大学生・高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考となる体験を支援した。

10月29日(火) 河南町立中学校 【8名】

11月8日(金) 富田林市立喜志中学校 【8名】

11月8日(金) 太子町立中学校 【4名】

(8) 地元大学との連携

近隣や府内の大学と、博物館を活用した産学連携活動を実施した。

①大阪大谷大学

8月13日(火)～9月10日(火) (うち9日間) 博物館実習「一須賀古墳群測量調査」 【82名】

②四天王寺大学 11月1日(金) 博物館実習 【13名】

③大阪芸術大学芸術計画学科 2月5日(土)～2月15日(土)

近つ飛鳥ギャラリー「埴輪の体温一時を超越する力」【見学者2,520名】

④関西大学総合情報学部 堀雅洋教授ゼミ 通年

仁徳陵古墳模型映像コンテンツの作成ならびに展示用アプリの開発

5. 「どこでも博物館」事業

(1) れきしウォーク(現地見学会)

大阪などの歴史を学び、来館の機会を促すために、各展覧会に関わる見学会の他、大阪府内や周辺各地の見学会を学芸員の案内で実施した。

4月7日(日) れきしウォーク「古市古墳群南群の古墳をめぐる」 【42名】

6月1日(土) 現地見学会「三野県主と生駒西麓の古墳」 【50名】

9月15日(日) 現地見学会「奈良北部、秋篠・菅原の地に土師氏を求めて」 【85名】

11月2日(土) 現地見学会「筒城宮伝承地と南山城の古墳をあるく」 【62名】

12月15日(日) れきしウォーク「桜井市阿部地域の古墳・寺院跡をめぐる」 【59名】

(2) 出張講座・ワークショップ

公民館等へ出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、地域における歴史遺産の普及活動や成人の生涯学習を行った。

①出張講座

5月11日(土)	緑水苑ウォーク「吹田市紫金山周辺の文化財」	【14名】
5月18日(土)	朝日カルチャー中之島教室「河内政権を支えた中小の古墳」	【11名】
6月15日(土)	朝日カルチャー中之島教室「石見遺跡と唐古鍵遺跡周辺をめぐる」	【11名】
7月13日(土)	緑水苑ウォーク「忌部氏の本貫地を巡る」	【14名】
7月20日(土)	朝日カルチャー中之島教室「長尾街道と周辺の古墳を歩く」	【10名】
8月24日(土)	朝日カルチャー中之島教室講座「八角形墳を考える」	【15名】
9月21日(土)	朝日カルチャー中之島教室「高槻市西部の古墳をめぐる」	【10名】
9月25日(水)	かなん講座「百舌鳥・古市古墳群について」	【17名】
10月5日(木)	島根学講座「玉からみたヤマト王権と出雲」	【254名】
10月17日(木)	河内長野市立南花台公民館歴史講座「大阪の古墳が語る古代史」	【40名】
10月19日(土)	朝日カルチャー中之島教室「姫路市東部の古墳と埋蔵文化財センターをめぐる」	【10名】
10月23日(水)	かなん講座「古市古墳群を歩く」	【12名】
11月9日(土)	緑水苑歴史探訪「史跡心合寺山古墳と周辺の古墳を廻る」	【14名】
11月16日(水)	朝日カルチャー中之島教室「富田林市の終末期古墳と寺院、寺内町を訪ねる」	【10名】
12月15日(日)	れきしウォーク「桜井市阿部地域の古墳・寺院跡をめぐる」	【59名】
12月21日(土)	朝日カルチャー中之島教室「久米田古墳群と行基の痕跡を訪ねる」	【10名】
1月11日(土)	緑水苑歴史探訪ウォーク「今城塚古墳と周辺をめぐる」	【13名】
1月18日(土)	朝日カルチャー中之島教室「大和川を見守る古墳群と神社」	【10名】
1月22日(水)	かなん講座「寛弘寺古墳群について」	【13名】
2月15日(土)	朝日カルチャー中之島教室「神戸の海岸沿いに営まれた前期古墳」	【10名】
2月26日(水)	かなん講座「一須賀古墳群について」	【14名】
3月21日(土)	朝日カルチャー中之島教室「東大阪市瓢箪山駅周辺を歩く」	【8名】

②出張ワークショップ

7月7日(日)	近鉄百貨店阿倍野橋店「ハニワ貯金箱づくり」	【14名】
7月13日(土)	セレッソ大阪長居競技場「土器パズル&ぬりえ」	【27名】
7月13日(土)	ハルカス大学「古代衣裳体験」	【35名】
7月15日(月・祝)	ハルカス大学「古代衣裳体験」	【48名】
7月20日(土)	守口市生涯学習・スポーツ振興課「勾玉づくり体験」	【13名】
7月21日(日)	堺市都市緑化センター「はにわづくり」	【20名】
7月23日(火)	牧野留守家庭児童館「勾玉づくり体験」	【116名】
7月26日(金)	島本町人権文化センター「勾玉づくり体験」	【64名】
7月27日(土)	まなりんく「はにわ作り体験」	【40名】
7月28日(日)	島本町立人権文化センター「勾玉づくり体験」	【100名】
8月2日(金)	樞原神宮林間学園歴史教室「埴輪づくり体験」	【54名】
8月16日(金)	西宮阪急コトコトステージ「勾玉づくり体験」	【15名】

9月16日(月・祝) まなりんく協議会「埴輪づくり体験」	【20名】
9月23日(月・祝) 旧河澄家住宅「埴輪づくり体験」	【18名】
10月30日(水) 島本町放課後子ども教室推進事業「勾玉づくり体験」	【58名】
1月7日(火) 古代塾「埴輪づくり体験」	【30名】

(3) 大阪市内等での講演会

当館の活動の府民等への周知と百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録に関する府民意識の醸成をはかるため、大規模ホールを借りて講演会を開催した。

2月2日(日) でかける博物館講演会「古墳築造と土木事業」	【参加者数：482名】
会場：りそな銀行本店 地下講堂 共催：公益財団法人 大阪府文化財センター	

(4) 出張展示

①滋賀県立安土城考古博物館 「6世紀の武器と武具」	【入館者：8,080名】
開催期間 7月20日(土)～9月29日(日)	【会期：51日】
②大阪府立狭山池博物館 ミニ展示『古代の装身具ー古鏡の世界ー』	【入館者：7,580名】
開催期間 1月22日(水)～3月8日(日)	【会期：26日】

(5) 地元市町村との連携

地元市町村や自治会等の講座や文化祭等の催しへ出講、出店などを行った。

①かなん文化講座 (全6回のうち4回当館が講師を担当)	【参加者数：計83名】
8月28日(水) 9月25日(水) 10月23日(水) 11月27日(水)	
1月22日(水) 2月26日(水)	
②河南町文化協会 「第16回 秋の文化祭典」11月3日(土)～4日(日)	【参加者数：1,800名】

6. 「体験する博物館」事業

(1) 夏休みこども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、リサイクル資材などを活用した工作室を開催した。

8月11日(日) 夏休みこども工作室		
「動く埴輪アニメーション」【40名】	「ボトル石棺」【50名】	「木のペンダント」【60名】
「ボーガン」【50名】	「走るハニワ」【50名】	「まつぼっくりのクリスマスツリー」【60名】
【参加者数：計310名】		

(2) こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくり体験を行った。今年度は、館外事業として、外部機関との連携で実施した。

アリオ八尾 12月15日(日) 光町スクエア「古代のアクセサリ勾玉を見る・知る・作ろう」	【62名】
--	-------

(3) 古代衣裳着用体験

古墳時代・古代の復元衣裳着用体験を実施した。また、支援学校等の校外学習などにおいても実施した。

5月3日(金) 古墳時代まつり「古代衣裳体験」	【50名】
-------------------------	-------

11月16日(土)	古代衣裳体験	【25名】
10月11日(金)	羽曳野市西浦支援学校(高等部)「古代衣裳体験」	【93名】
10月18日(金)	八尾市八尾支援学校高等部「古代衣裳体験」	【32名】

(4) こどもファーストデイ

大阪府・大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。下記の内容と「土器・銅鐸パズル」を併せて実施した。

4月20日(土)	「やったぜ!はやぶさ2」	【44名】
5月18日(土)	「ずぼんぼ」	【31名】
6月15日(土)	「二翼グライダー」	【61名】
7月20日(土)	「まわるやじろべい」	【51名】
9月21日(土)	「リングロケット」	【27名】
10月19日(土)	「かわいいギター」	【34名】
11月16日(土)	「ぶんぶんごま」	【40名】
1月18日(土)	「首ふり恐竜」	【27名】
2月15日(土)	「万華鏡」	【49名】
3月20日(土)		【中止】

7. 企業との連携事業

(1) 遺跡見学ツアー

民間旅行会社と連携し、博物館周辺の遺跡と博物館を見学するツアーを共同企画した。

2月20日(木)～21日(金)	「世界遺産と土師氏をめぐる旅」	【13名】
-----------------	-----------------	-------

(2) 学芸員の出張講演・講座・ワークショップ

近鉄文化サロン阿倍野と連携し、「でかける博物館講座 考古学からみる古代の生活6」を開催した。

8月29日(木)	「古墳における土器を用いた儀礼ー土師器を中心にー」	【65名】
10月17日(木)	「祈りの風景ー古墳時代の集落を中心にー」	【64名】
12月19日(木)	「古墳築造過程と葬送儀礼からみた古墳時代」	【83名】
2月20日(木)	「古代王権の祭祀ー祈年祭と新嘗祭・大嘗祭ー」	【81名】

8. 広報普及事業

(1) 機関紙「博物館だより」(アスカディア・古墳の森)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を合計2回発行した。

『博物館だより』Vol.51 9月30日発行 4,000部

『博物館だより』Vol.52 3月31日発行 4,000部

(2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

館のテーマに沿った研究報告、博物館活動についての報告や年間事業記録などを掲載する館報を刊行

した。

『館報』23号 3月31日刊行

(3) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。3か月単位のミュージアムカレンダーを作成し、配布した。

(4) 校外学習の案内

小・中学校および高等学校の校外学習での利用を促すため、校長会等を通じて案内活動を行った。

1月15日(水) 大阪府・大阪市小学校校長会

(5) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて積極的に情報を提供した。 【52件】

(6) 広報の強化

近隣市町の協力を得て、広報誌等に当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的な広報を行った。また、新聞等の有料広告、インターネットの博物館情報サイト等の活用や、パンフレットへの掲載等、効果的活動に努力した。今年度は、百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録されたこともあり、テレビ局等の撮影などが多かった。

報道提供 【39回】

新聞紙面への記事・広告 【41回】

インターネット・テレビ放送 【36件】

(7) ホームページの充実

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内など、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。外国人来館者にも対応できるよう、外国語による情報発信に努めた。また、SNSを活用した情報発信も継続して進めた。

ホームページ更新回数 【113回】

facebook 更新回数 【84回】

9. 研究事業

(1) 他博物館等と連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業の開催など、相互協力した事業を進めた。

2月2日(日)でかける博物館講演会「古墳築造と土木技術」

「金剛葛城地域博物館ネットワーク」紹介コーナーのブース設置

(2) 国内・海外の研究者との学術交流

155件 185名(国内168名、海外17名)、資料調査12件

(3) 客員学芸員制度

展示企画・研究活動について実務面での人的な協力体制をつくり、より充実したものとするため、客員学芸員を引き続き委嘱した。特別展・企画展等の図録への助言や執筆の分担を依頼したほか、『館報』

23 への論文の掲載、各種イベント等における役割の分担など広範囲の活動を行った。

(4) 研究成果の発表

土曜講座、出張講座等や近つ飛鳥博物館「館報」において、研究成果を掲載した。

(5) 全国風土記の丘協議会への参加

協議会へ出席し、各地の風土記の丘の活用について情報を収集した。

開催期間 11月7日(木)～8日(金) 令和元年度風土記の丘協議会総会・研修会

開催場所 下野市役所・那賀川町なす風土記の丘資料館ほか

10. 資料調査収集・製作・管理事業

(1) 図書資料収集

学術図書の計画的購入等、資料収集に務め、各博物館・各都道府県・市町村から寄贈された図書を登録し、書庫へ配架した。また来館者に文化財に関する研究・探究心を深めていただくため、普及啓発用図書や学術図書を書籍閲覧コーナーに配架を行った。 【登録図書：2,402冊】

(2) 館蔵資料の管理、学術的整理、保管

所蔵資料の適切な管理を実施した。重要文化財「修羅」、紫金山古墳、南塚古墳出土品などについては、所蔵者、研究機関を交えた定期的な点検を実施した。また、館蔵資料の観察記録作成などの資料整理を進めた。

11月25日(月) 紫金山古墳・南塚古墳出土品点検

立会者 京都大学大学院文学研究科 教授 吉井秀人、准教授 下垣仁志、助教 阪口英毅
大阪府教育庁文化財保護課 総括主査 土屋みづほ、副主査 三好英樹

(3) 館蔵資料の貸出し

保管する収蔵資料を幅広く活用するために、他の博物館等からの要請により貸出しを行った。

館蔵資料 貸出件数5件(昨年度末に貸出したものを含む。)

館蔵画像等(貸出・掲載許可を含む)87件

(4) 模型・レプリカの製作、実物資料・写真資料収集、映像ソフトの充実

館のテーマに沿った模型・レプリカの製作、実物資料・写真資料などの資料収集に努めた。

仁徳陵古墳模型映像コンテンツの作成ならびに展示用アプリの開発

協力 関西大学総合情報学部 堀雅洋教授ゼミ

11. サービス事業

(1) マーケットリサーチ、満足度調査の実施

来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とするために特別展・企画展、常設展示期間を通じてアンケートを実施した。

(2) 相談コーナーの設置

実物資料に触れることができるコーナーを設置し、かつ、来館者からの文化財に対する様々な疑問に応えるために人員を配置した。

(3) 障がい者等への利用援助

支援学校の校外学習に際して柔軟な対応で解説や体験メニューを実施し、障がい者の健康面に配慮し、機器用電源や休憩室を必要に応じて確保した。

(4) 子どもにもわかりやすい解説

各展覧会で子ども向け解説パネル・リーフレット等を提供した。各展覧会で子供向け解説パネルの作成を進め18回の提供を行った。

(5) 音声ガイドの無料貸出

常設展示の日本語（一般・児童）の他、英語・韓国語・中国語を用意し、外国人利用者へも配慮する。特別展・企画展においては別途、日本語解説を作成した。また、特別展においても一部のキャプションに英語表記を加えた。

(6) 解説シートの作成

展覧会ごとに展示を理解するうえで必要なパネルや地図などを加工して解説シートを合計11種類作成し配布した。

12. 研修事業

(1) 学芸研修

博物館運営や業務の促進のため会議や研修に参加した。

6月20日（木） 公開承認施設担当者会議 文化庁旧庁舎講堂

7月3日（水） 全国博物館館長会議 文化庁旧庁舎講堂

(2) 人権研修・消防訓練研修

人権啓発用ソフト（教材）の視聴によって、職員の人権研修を実施した。 12月27日（金）

消防計画に基づいて、自衛消防訓練研修を実施した。 12月27日（金）

13. 施設管理事業

(1) 日常的管理

指定管理共同企業体の近鉄ビルサービスと共に、施設管理年間計画を策定し、定期点検等、施設管理を実施した。また、経年劣化等により修繕が必要な箇所を抽出し、所管課に改善を提案、また改修や交換等を行った。

(2) 修繕

急を要するものや、来館者の満足度向上に資すると思われるものについては、下記の修理等を実施した。

ア．特別収蔵庫ならびに修羅室のパッケージエアコン蒸気発生器蒸気ホース交換

イ．ハイビジョンコーナーのプロジェクター更新

ウ．来館者用通路（スロープ部）タイル補修工事

エ．駐車場入口陥没部の応急処置（鉄板敷設工事）

(2) ESCO事業への協力

大阪府が実施した「民間資金による府有施設の省エネ化を図る民間資金活用型ESCO事業」に対応するため休館措置に協力し、工事に伴い約1,000点の撤収及び再展示など諸作業を行った

工事期間 12月3日(火)～12月27日(金)

14. 近つ飛鳥風土記の丘管理事業

(1) 日常的管理

園路およびみどりの広場の草刈りおよび清掃、園内施設の清掃等を実施した。また樹木の剪定や育成管理業務なども行った。 【風土記の丘利用者数 97,302名】

(2) 禁止行為に係る点検

損壊、損傷等の行為に係る点検を行った。

15. 入館者数及び入館料一覧

(令和元年度)

区 分	入館者数 (名)					入館料 (円・税込)	開館 日数 (日)
	展示室			普及ゾーン	総数		
	有料	無料	計				
常 設 展	3,393	1,194	4,587	14,723	19,310	833,090	77
割合 (%)	23.1	9.6	17.0	28.2	24.4	16.1	
春季企画展	3,926	3,452	7,378	14,687	22,065	1,336,970	62
割合 (%)	26.8	27.9	27.3	28.1	27.8	25.8	
夏季特別展	3,711	3,678	7,389	7,579	14,968	1,814,160	50
割合 (%)	25.3	29.7	27.3	14.5	18.9	35.0	
秋季企画展	2,697	2,874	5,571	8,384	13,955	866,460	43
割合 (%)	18.4	23.2	20.6	16.1	17.6	16.8	
冬季企画展	934	1,182	2,116	6,851	8,967	326,040	26
割合 (%)	6.4	9.5	7.8	13.1	11.3	6.3	
合計	14,661	12,380	27,041	52,224	79,265	5,176,720	258
割合 (%)	100	100	100	100	100	100	

<年度比較>

平成 30 年度 実績	14,235	17,306	31,541	64,470	96,011	4,882,670	304
平成 29 年度 実績	16,004	16,326	32,330	64,714	97,044	6,263,200	304
平成 28 年度 実績	13,988	16,486	30,474	59,551	90,025	4,818,200	307

※臨時休館

10月12日(土)の1日間

台風19号通過のため

12月3日(火)～27日(金)の22日間

ESCO事業実施のため

3月3日(火)～31日(火)の25日間

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

VI 泉佐野市立歴史館いずみさの事業

1. 展示公開事業

(1) 常設展示

泉佐野を代表する歴史遺産である中世荘園の日根荘の時代をテーマにした展示をした。その時代の人びとのくらしなどを当時の絵図や日記、荘園模型をもとに紹介した。

(2) 特別展・企画展

新規の来館者の裾野を広げるとともに、来館者の歴史文化に対する知的満足度をさらに高めるため、特別展・企画展を下記のとおり開催した。

①春季特別展「里井浮丘とその周辺—里井家資料寄贈記念—」 【入館者数：2,425名 36名／日】

ア. 開催趣旨

里井家は中庄村（現泉佐野市中庄）の庄屋役を務める一方、湊浦（泉佐野市湊地区沿岸部）で廻船業を営むなど商家としてもその存在感を示していた。なかでも幕末の当主里井浮丘は、家業を守るとともに文化人として名を馳せ、38才の頃には国学の大家大国正隆に入門し、天誅組の藤本鉄石、勤王僧月性などの憂国の志士とも交流を有した。本展示では、平成30年度、新たに寄贈を受けた里井家文書をもとに、多方面に活躍した里井浮丘を紹介した。

イ. 開催期間 4月13日（土）～7月7日（日） 【会期68日間】

ウ. 印刷物 ポスター・ちらし

エ. 展示解説 講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行うほか、希望に応じて随時展示解説を行った。

4月27日（土） 【参加者数：15名】

5月10日（金） 【参加者数：5名】

5月25日（土） 【参加者数：23名】

オ. 広報 本展のポスター・ちらしを泉佐野市内の公共施設や小中学校を中心に配布し、広報活動を行った。また、泉佐野市政記者クラブに情報提供するとともに、ミニコミ誌などを用い、広く本展をPRした。フェイスブックを用いて本展に関する催し案内を行い、本事業を広報した。

②夏季企画展「摂河泉の考古学—小さな速報展—」 【入館者数：3,566名 61名／日】

ア. 開催趣旨

泉佐野市や大阪府文化財センターの発掘調査により、大阪府内の遺跡から近年出土した資料をもとに考古学の魅力を紹介した。また、古代から中・近世にいたる生活や文化・歴史について速報的な展示を行った。

イ. 開催期間 7月20日（土）～9月29日（日） 【会期58日間】

ウ. 印刷物 ポスター・ちらし

エ. 広報 本展のポスター・ちらしを泉佐野市内の公共施設や小中学校を中心に配布し、広報活動を行った。また、泉佐野市政記者クラブに情報提供するとともに、ミニコミ誌などを用い、広く本展をPRした。フェイスブックを用いて本展に関する催し案内を行い、本事業を広報した。

③秋季特別展「向井久万仏画展」

【入館者数：2,498名 44名／日】

ア. 開催趣旨

向井久万は、泉南郡上之郷村机場（現泉佐野市上之郷）に生まれた日本画家である。昭和12年に西山翠嶂の門下生として画業に身を投じて以後、数々の入選を重ね、美術界で高く評価されている。向井久万は人物画、花鳥画、仏画を多く描いており、本展は平成29年度に開催した「向井久万裸婦像展」の後編として本館蔵の仏画を中心に展示し、人生をかけて向井久万が追求した人の姿の集大成を市民にみていただいた。

イ. 開催期間 10月12日（土）～12月22日（日） 【会期57日間】

ウ. 印刷物 ポスター・ちらし

エ. 図録刊行 特別展開催を機会に、『向井久万館蔵作品集』を刊行した。発行部数450部。

オ. 広 報 本展のポスター・ちらしを泉佐野市内の公共施設や小中学校を中心に配布し、広報活動を行った。また、泉佐野市政記者クラブに情報提供するとともに、ミニコミ誌などを用い、広く本展をPRした。フェイスブックを用いて本展に関する催し案内を行い、本事業を広報した。

④冬季企画展「恵方？鬼門？泉佐野の家相図～江戸時代の占いブーム～」

【入館者数：1,427名 40名／日】（その他 臨時休館中入館者73名）

ア. 開催趣旨

泉佐野市内を通る旧熊野街道沿いには旧家が数多く存在し、それらの屋敷図が現存している。屋敷図には家相鑑定が書き込まれているものも多く、江戸時代の人々の“家”の存続への期待が垣間見える。本展示では、泉佐野に残る家相図を展示し、江戸時代に大流行した占いの歴史について紹介した。

イ. 開催期間 2年1月18日（土）～3月29日（日） 【会期36日間】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月3日（火）より臨時休館

ウ. 印刷物 ポスター・ちらし

エ. 広 報 本展のポスター・ちらしを泉佐野市内の公共施設や小中学校を中心に配布し、広報活動を行った。また、泉佐野市政記者クラブに情報提供するとともに、ミニコミ誌などを用い、広く本展をPRした。フェイスブックを用いて本展に関する催し案内を行い、本事業を広報した。

(3) エントランスホール展示

①歴史館ギャラリー（市民連携活動）

市民の創作活動を発表とする場、他自治体と連携した展示を歴史館ギャラリーとし、絵画、写真等の作品展を自主事業として実施する。

ミニ展示「泉州の茶道具陶器展」 【入館者数：1,325名 66名／日】

ア. 開催趣旨

泉州では古来より土器づくりが盛んであった。土器製作と陶芸作品の作成はその製法において密接に関係していることから、本展示では、泉州ゆかりの素材を利用した陶芸作品を展示し、土器製作や陶芸の製法に関心をもってもらう機会を市民へ提供するものとして開催した。

イ. 開催期間 平成31年3月23日（土）～4月14日（日） 【会期：20日】

②日根荘コーナー

写真パネル等による展示、日根荘に関連したこども向けのクイズを設け、大人からこどもまで幅広い世代に日根荘の重要性、歴史を知ってもらうコーナーを設置した。

③さわれる民具コーナー

近世の民具や近代の道具などのコーナーを設け、こどもたちに積極的に触れてもらい、昔の生活の学習に供した。

④図書閲覧コーナー

郷土史の理解を深めるため、郷土の歴史文化を中心とした図書を集めて市民が自由に閲覧できるコーナーを設けた。

2. 講演会事業

(1) 館長講演会

年に2回、田邊征夫館長による講演会を実施した。

前期館長講演会 7月6日(土) 「藤原京から平城京へ～なぜ藤原京は短命だったのか～」

【参加者数：37名】

後期館長講演会 11月16日(土) 「完成した古代の都・平城京～都市計画の基本とその後の変容～」

【参加者数：23名】

(2) 特別展・企画展関連の講演会

①春季特別展「里井浮丘とその周辺―里井家資料寄贈記念―」

第1回 4月27日(土) 「里井浮丘の手紙を読む」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数：18名】

第2回 5月11日(土) 「里井浮丘の手紙を読む」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数：16名】

5月25日(土) 「里井浮丘とその周辺」 藪田 貫(兵庫県立歴史博物館館長)

【参加者数：26名】

②夏季企画展「摂河泉の考古学―小さな速報展―」

第1回 9月1日(日) 「大阪府内の発掘調査―上牧遺跡・井尻遺跡―」

笹栗 拓/鹿野 壘(公益財団法人大阪府文化財センター) 【参加者数：26名】

第2回 9月8日(日) 「大阪府内の発掘調査―船橋遺跡・羽倉崎北遺跡―」

井上智博(公益財団法人大阪府文化財センター)

貝川克士(泉佐野市教育委員会)

【参加者数：22名】

(3) 歴史学講座

文化史・宗教史編、戦国史編、政治史編に分けて開催した。文化・宗教史編では、前年度に引き続き、生活や俗信に深い影響を与えた陰陽道や、九条家が重用した陰陽師についてとりあげ、神道・修験道と陰陽道の関わりについて考えた。戦国史編は戦国時代をテーマに当時の社会世相や戦乱について取り上げた。

①「歴史学講座 宗教史編 陰陽道史特論」全8回 細田慈人(当館学芸員)

第1回 5月8日(水) 「風水の影響と陰陽師」 【参加者数：32名】

第2回 6月12日(水) 「籤引きと占いと」 【参加者数：38名】

第3回 7月10日(水) 「物語に描かれる陰陽師」 【参加者数：36名】

第4回	8月14日(水)	「修験道と陰陽道」	【参加者数:31名】
第5回	10月9日(水)	「安倍晴明伝説の誕生と流布」	【参加者数:33名】
第6回	11月13日(水)	「晴明伝説と民間陰陽師」	【参加者数:35名】
第7回	1月8日(水)	「年中行事と陰陽道」	【参加者数:34名】
	3月7日(土)	「年中行事と陰陽道」	【参加者数:中止】
第8回	2月12日(水)	「橋占・辻占・チマタの占い」	【参加者数:41名】
	3月15日(日)	「橋占・辻占・チマタの占い」	【参加者数:中止】

②「歴史学講座 宗教史編 陰陽道史特論補遺 中世の民衆・民間信仰と修験道・陰陽道」全6回

細田慈人(当館学芸員)

第1回	9月29日(日)	「伝承・説話と民衆心理」	【参加者数:31名】
第2回	10月27日(日)	「伝承・説話と宗教者の職掌」	【参加者数:27名】
第3回	11月30日(土)	「中世社会と民衆の陰陽道」	【参加者数:24名】
第4回	12月15日(日)	「修験・修験者と修験道の成立」	【参加者数:36名】
第5回	2月23日(日)	「修験道と様々な信仰」	【参加者数:中止】
第6回	3月29日(日)	「牛頭天皇信仰と陰陽道の神」	【参加者数:中止】

③「歴史学講座 宗教史編 陰陽道史特論補遺 安倍晴明伝説」全3回 細田慈人(当館学芸員)

第1回	1月25日(土)	「安倍晴明伝承の誕生」	【参加者数:26名】
第2回	2月29日(土)	「安倍晴明伝承の子孫と伝説」	【参加者数:中止】
第3回	3月21日(土)	「安倍晴明伝説の流布」	【参加者数:中止】

④「歴史学講座 戦国史編 織豊政権と本願寺」全4回 松迫 寿(当館学芸員)

第1回	10月25日(金)	「織田信長と石山合戦」	【参加者数:33名】
	11月10日(日)	「織田信長と石山合戦」	【参加者数:12名】
第2回	11月22日(金)	「信長の紀州雑賀攻め」	【参加者数:42名】
	12月1日(日)	「信長の紀州雑賀攻め」	【参加者数:8名】
第3回	12月27日(金)	「豊臣秀吉と本願寺」	【参加者数:35名】
	1月12日(日)	「豊臣秀吉と本願寺」	【参加者数:19名】
第4回	1月24日(金)	「本願寺の京都移転と分立」	【参加者数:36名】
	2月9日(日)	「本願寺の京と移転と分立」	【参加者数:23名】

(4) 古文書講座

初級編と応用編に分けて開催した。初級編は、古文書に親しんでもらうことを目標とし、応用編においては、中・近世を題材として実施した。

①「古文書講座初級編 入門くずし字講座」全4回 松迫 寿(当館学芸員)

第1回	5月30日(木)	【参加者数:41名】
第2回	6月6日(木)	【参加者数:29名】
第3回	6月13日(木)	【参加者数:31名】
第4回	6月20日(木)	【参加者数:30名】

②「古文書講座中級編 くずし字を読む」全4回 細田慈人(当館学芸員)

第1回 9月14日(土)	【参加者数:36名】
第2回 9月28日(土)	【参加者数:36名】
第3回 10月5日(土)	【参加者数:29名】
第4回 10月26日(土)	【参加者数:21名】

(5) 改元記念講座

新元号「令和」の発表を記念して選定元となった最古の和歌集『万葉集』と維新後初の生前退位となる今回の改元にちなんで『万葉集』と「改元」の2つをテーマに講座を実施した。

「祝！！改元記念(便乗)講座 万葉集と改元」全4回

第1回 7月28日(日)	「万葉集と古代伝承の世界」	西村 歩(当館副館長)	【参加者数:31名】
第2回 8月4日(日)	「祥瑞と改元」	細田 慈人(当館学芸員)	【参加者数:38名】
第3回 8月11日(日)	古文書講座「改元を読む①」	松迫 寿(当館学芸員)	【参加者数:29名】
第4回 8月18日(日)	古文書講座「改元を読む②」	細田慈人(当館学芸員)	【参加者数:25名】

(6) 副館長講座

城郭をテーマとした西村歩副館長による講座を実施した。

①「城郭講座」全3回

第1回 9月15日(日)	「城郭鑑賞の基礎知識①」	【参加者数:36名】
9月20日(金)	「城郭鑑賞の基礎知識①」	【参加者数:22名】
第2回 12月8日(日)	「城郭鑑賞の基礎知識②」	【参加者数:20名】
12月10日(火)	「城郭鑑賞の基礎知識②」	【参加者数:24名】
第3回 1月26日(日)	「城郭鑑賞の基礎知識③」	【参加者数:38名】
1月28日(火)	「城郭鑑賞の基礎知識③」	【参加者数:33名】

②「特別講座」

2月16日(日)	「紀州鷲森本願寺における歴史的寺院建築とその意義」	【参加者数:42名】
----------	---------------------------	------------

(7) 学芸員の出張講演・講座

他施設において講演会等を実施し、歴史館いずみさのの周知に務めるとともに来館の促進を図った。

①近鉄文化サロン でかける博物館講座

5月16日(木)	「古代の占いと天皇」	細田慈人(当館学芸員)	【参加者数:50名】
6月20日(木)	「暦の歴史」	細田慈人(当館学芸員)	【参加者数:71名】

②泉佐野市教育委員会

7月2日(火)	校園長会	松迫 寿(当館学芸員)	【参加者数:20名】
---------	------	-------------	------------

③貝田町内会

7月27日(土)	「貝田町の成り立ち、歴史について～式内社加支多神社を含めて～」	細田慈人(当館学芸員)	【参加者数:52名】
----------	---------------------------------	-------------	------------

④佐野公民館

8月9日(金) 「元号と改元のお話」 細田 慈人(当館学芸員) 【参加者数:21名】

8月31日(土) 「織豊期の泉佐野～信長・秀吉とどのように関わったのか～」
松迫 寿(当館学芸員) 【参加者数:25名】

⑤泉佐野観光ボランティア協会

8月18日(日) 「奥家住宅講習会」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数:35名】

⑥和歌山市立博物館

9月7日(土) 「戦国期の鷺森御坊―鷺森にあった国宝級建築―」
西村 歩(当館副館長) 【参加者数:64名】

⑦日根荘を知る会 日根荘勉強会

9月15日(日) 「日根荘、政基公旅引付」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数:62名】

10月20日(日) 「史跡日根荘と荘園遺跡 日根荘遺跡の基礎知識2
～史跡日根荘遺跡～」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数:42名】

12月8日(日) 「旅引付を読む①」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数:40名】

1月19日(日) 「旅引付を読む②」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数:34名】

2月16日(日) 「旅引付を読む②続」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数:35名】

3月15日(日) 「旅引付を読む③」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数:中止】

⑧寿大学

9月27日(金) 「年中行事の始まり」 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数:120名】

⑨和歌山大学紀州経済史文化史研究所

11月23日(土) 「エクスカージョン 日根荘の史跡をめぐる」 細田慈人(当館学芸員)
【参加者数:25名】

11月24日(日) 「七宝瀧寺と日根荘―修験二十八宿の世界―」公開シンポジウム「九条政基と
陰陽道―『政基公旅引付』にみる―」 細田慈人(当館学芸員)
【参加者数:79名】

⑩日本遺産日根荘推進協議会

3月6日(金) 「日本遺産「日根荘」ガイド養成講座モデルコースを歩きましょう」
細田慈人(当館学芸員) 【参加者数:42名】

3. 体験学習事業

(1) 小中学校の団体見学受け入れ

各学校と連携により学芸員が展示解説を行い、展示室での生徒の学習を支援した。

<泉佐野市>日根野小学校、第二小学校、中央小学校 【3校:計347名】

(2) 出前授業

幼稚園児から高校生に至るまで、館や郷土の歴史・民俗に親しみをもってもらうため、学芸員等が学校に出かけ、体験学習等を行った。

<泉佐野市>日根野中学校、長南小学校、長坂小学校、末広小学校、北中小学校

(3) 大学・高等学校、その他団体の受け入れ

小中学校の他、大学、高等学校、その他団体を受け入れ、当館学芸員が展示解説を行い、学習を支援した。

①大学・高等学校

<大学>和歌山大学

【1校：24名】

②その他団体

泉佐野市教育委員会、泉佐野会、健康さわやかサークル、貝塚いぶき作業所、大阪観光局・泉佐野教育学会、泉佐野観光ボランティア協会、難波宮と大阪・熊野街道連絡協議会、堺市西区万歩会、歴史を楽しむ会、泉南市エクササイズウォーキング

【11件：計259名】

(4) 子ども向け体験（土曜れきし館ワークショップ）

毎月1、2回、土曜日に児童向けの体験学習事業を開催した。

4月6日（土）	「ぶんぶんゴマとペットボトルのキャップでコマをつくろう！」	【参加者数：37名】
4月7日（日）	「ぶんぶんゴマとペットボトルのキャップでコマをつくろう！」	【参加者数：30名】
4月20日（土）	「イースターエッグをつくろう！」	【参加者数：23名】
5月5日（日）	「ダンボール迷路で遊ぼう！」	【参加者数：27名】
5月5日（日）	「勾玉をつくろう！」	【参加者数：10名】
6月1日（土）	「勾玉をつくろう！」	【参加者数：5名】
6月15日（土）	「七夕飾りをつくろう！」	【参加者数：15名】
7月20日（土）	「うちわをつくろう！」	【参加者数：26名】
7月27日（土）	「宝石を探そう！」（※協力：きしわだ自然資料館）	【参加者数：29名】
7月30日（火）～9月1日（日）	「ダンボール迷路で遊ぼう！」	【参加者数：374名】
8月3日（土）	「絵巻物をつくろう！」	【参加者数：11名】
8月10日（土）	「貯金箱をつくろう！①」	【参加者数：12名】
8月17日（土）	「貯金箱をつくろう！②」	【参加者数：12名】
8月24日（土）	「グリーティングカードをつくろう！」	【参加者数：14名】
9月21日（土）	「泥めんこをつくって遊ぼう！」	【参加者数：27名】
9月21日（土）	「ダンボール迷路で遊ぼう！」	【参加者数：74名】
9月21日（土）	「泥めんこをつくって遊ぼう！」「ダンボール迷路で遊ぼう！」	両方参加 【参加者数：43名】
9月22日（日）	「勾玉をつくろう！」	【参加者数：28名】
9月22日（日）	「ダンボール迷路で遊ぼう！」	【参加者数：86名】
9月22日（日）	「勾玉をつくろう！」「ダンボール迷路で遊ぼう！」	両方参加 【参加者数：30名】
10月19日（土）	「紙すきでハガキをつくろう！」	【参加者数：11名】
10月26日（土）	「ジャック・オ・ランタンのお菓子入れをつくろう！」	【参加者数：17名】

11月9日(土)	「くるくるレインボーをつくろう！」	【参加者数：28名】
11月24日(日)	「水墨画を描こう！」	【参加者数：10名】
12月7日(土)	「くるくるレインボーをつくろう！」	【参加者数：31名】
12月7日(土)	「ダンボール迷路で遊ぼう！」	【参加者数：30名】
12月7日(土)	「くるくるレインボーをつくろう！」「ダンボール迷路で遊ぼう！」	両方参加 【参加者数：12名】
12月14日(土)	「クリスマス飾りをつくろう！」	【参加者数：11名】
12月21日(土)	「おもちをついてみよう！」	【参加者数：24名】
1月18日(土)	「新春書初め絵馬を書こう！」	【参加者数：15名】
2月1日(土)	「和とじ本をつくろう！」	【参加者数：15名】
2月15日(土)	「牛乳パックで小物入れをつくろう！」	【参加者数：19名】
3月14日(土)	「ダンボール織でコースターをつくろう！」	【参加者数：中止】

(5) いずみさの歴史ウォーク

郷土の史跡や文化財をめぐる歴史ウォークを行った。

(6) 市民・各団体連携（でかける歴史館）

他施設において、体験学習事業等を実施し、歴史館いずみさのの周知に務めるとともに来館の促進を図った。

①泉南市埋蔵文化財センター

7月26日(金) ハスフェスタ「くるくるレインボーをつくろう！」 【参加者数：48名】

②きしわだ自然資料館

8月11日(日) 山の日祭り「紙すき体験」 【参加者数：34名】

③大阪府立弥生文化博物館

2月2日(日) はくふだまつり「くるくるレインボーをつくろう！」 【参加者数：48名】

4. 資料収集・提供事業

(1) 「れきし相談コーナー」の設置

市民からの歴史・考古学に関する質問や相談等にきめ細やかに対応した。

(2) 『歴史通信いずみさの』の刊行

館の活動を報告し、博物館に対する市民の理解を得るため、定期的に『歴史通信いずみさの』を刊行した。

・歴史通信いずみさの Vol.32 「春季企画展」

(3) 歴史館紹介ちらしの配付

出前授業で学校を訪問した際には、生徒各々に来館を促すちらしを配付し、小・中学生を中心とする子どもたちが家族で歴史館に来館する動機づけを進めた。

(4) 広報活動の活発な展開

館行事を広く周知するため、フェイスブックに行事の告知や実施報告記事を掲載し、泉佐野市広報誌『広報いずみさの』に行事を随時掲載するほか、南海電鉄情報誌『NATTS』にも情報を提供し、広報活動の充実を図った。また、新聞社やテレビ局へ情報提供した。

①広報いずみさの・南海電鉄情報誌『NATTS』

- ・広報いづみさの4月号 いづみさの昔と今第280回「里井浮丘について①」
- ・広報いづみさの5月号 いづみさの昔と今第281回「里井浮丘について②」
- ・広報いづみさの6月号 いづみさの昔と今第282回「里井浮丘について③」
- ・広報いづみさの7月号 いづみさの昔と今第283回「織豊期の泉佐野―石山本願寺と信長―」
- ・広報いづみさの8月号 いづみさの昔と今第284回「織豊期の泉佐野―信長の紀州雑賀攻め―」
- ・広報いづみさの9月号 いづみさの昔と今第285回「織豊期の泉佐野―豊臣秀吉の紀州攻め―」
- ・広報いづみさの10月号 いづみさの昔と今第286回「泉佐野の画家―向井久万―」
- ・広報いづみさの11月号 いづみさの昔と今第287回「泉佐野の画家―向井久万と創造美術―」
- ・広報いづみさの12月号 いづみさの昔と今第288回「泉佐野の画家―向井久万と仏画―」
- ・広報いづみさの1月号 いづみさの昔と今第289回「泉佐野に残る家相図①」
- ・広報いづみさの2月号 いづみさの昔と今第290回「泉佐野に残る家相図②」
- ・広報いづみさの3月号 いづみさの昔と今第291回「泉佐野に残る家相図③」
- ・南海 NATTS5・6月号、7・8月号、9・10月号、11・12月号、3・4月号

②取材対応

- ・J:COM りんくう 4月18日(木)
さのテレ!「春季特別展「里井浮丘とその周辺―里井家資料寄贈記念展―」
- ・J:COM りんくう 4月27日(土)
デイリーニュース「春季特別展「里井浮丘とその周辺―里井家資料寄贈記念展―」
- ・J:COM りんくう 6月7日(金) さのテレ!「泉佐野・歴史への旅」
- ・J:COM りんくう 7月12日(金) 「長々と散歩」
- ・読売新聞社 8月1日(木) 夏季企画展「摂河泉の考古学―小さな速報展―」
- ・J:COM りんくう 8月21日(水)
デイリーニュース「夏季企画展「摂河泉の考古学―小さな速報展―」
- ・J:COM りんくう 10月18日(金) デイリーニュース「秋季特別展「向井久万仏画展」
- ・J:COM りんくう 1月21日(火)
デイリーニュース「冬季企画展「恵方?鬼門?泉佐野の家相図～江戸時代の占いブーム～」

③インターネットホームページ

【フェイスブック更新:36回】

(5) 資料等の貸出

当館所蔵の資料(実物・復元・写真・映像等)を他の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ日根荘をはじめとする泉佐野市に関する情報を発信した。

【資料2件・50点/写真1件・4点】

(6) 寄贈等された図書の登録

各博物館・市町村等から歴史館へ寄贈等された図書を台帳に登録し、書庫に開架した。

(7) 満足度調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケートを設置し、また、講演会ではアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示・講演会への意見等の把握に務めた。

5. 人材育成事業

(1) 博学連携事業の推進

職場体験や博物館実習等の要請を受け入れた。

8月20日(火)～8月24日(土)	博物館実習	近畿大学4回生	【2名】
8月20日(火)～8月24日(土)	博物館実習	仏教大学4回生	【2名】
11月7日(木)～11月8日(金)	職場体験	日根野中学校2年生	【4名】

(2) ミュージアムスタッフの人材育成研修

人と人とのふれあいを大切にし、心地よい博物館を目指して、来館者に対する対応マナーの研修を実施した。

(3) ボランティア活動(市民が参加する歴史館)

広く市民ボランティアを募集し、市民とともに博物館事業を推進した。

6. 施設管理事業

(1) 資料の保管

展示室、一般収蔵庫、特別収蔵庫の温度湿度を常時監視し、適温適湿の維持に務める。一般収蔵庫と特別収蔵庫においては燻蒸処理を年2回実施した。【燻蒸処理実施 5月28日、10月29日】

(2) 施設(備品)の維持管理

館内施設(備品)を適切な状態に保つよう務めた。

(3) 施設の利用許可対応

研修室の利用許可の対応を行った。

4月19日(金)	泉佐野市教育委員会	佐人権推進委員会	【利用者数:40名】
5月21日(火)	泉佐野市教育委員会	佐人権推進委員会	【利用者数:40名】
6月25日(火)	泉佐野市教育委員会	人権教育推進研修	【利用者数:25名】
7月19日(金)	泉佐野市教育委員会	観光ボランティア研究講座	【利用者数:25名】
7月31日(水)	泉佐野市教育委員会	佐人権推進委員会	【利用者数:40名】
8月1日(木)	泉佐野市教育委員会	文化財保護課	【利用者数:4名】
8月30日(金)	泉佐野市教育委員会	少人数担当者連絡会	【利用者数:30名】
9月18日(水)	泉佐野市教育委員会	佐人権推進委員会	【利用者数:40名】
10月16日(水)	泉佐野市教育委員会	初任者研修	【利用者数:19名】
10月17日(木)	泉佐野市教育委員会	人権教育研修講座	【利用者数:30名】
11月12日(火)	泉佐野観光ボランティア協会	泉佐野観光ボランティア養成講座	【利用者数:25名】
1月21日(火)	泉佐野市教育委員会	英語教育推進リーダー連絡会	【利用者数:5名】
1月29日(水)	泉佐野市教育委員会	情報教育担当者会、プログラミング教育研修会	【利用者数:40名】
2月13日(木)	泉佐野市教育委員会	キャリア教育担当者会	【利用者数:25名】

(4) 市との意見交換の実施

管理運営に関する協議や意見交換を定期的を実施した。

7. 書籍の販売協力

泉佐野市刊行の常設展、特別展の図録等の書籍の販売に協力した。

8. 利用者数一覧表

(令和元年度)

区 分	入館者数 (名)	館外自主事業 利用者 (名)	講師依頼による 利用者 (名)	合 計 (名)	開館日数 (日)
常設展	1,710	0	0	1,710	45
割合(%)	15	0	0	13	
春季特別展	2,425	276	0	2,701	68
割合(%)	21	20	0	20	
夏季企画展	3,566	379	82	4,027	58
割合(%)	30	28	63	31	
秋季特別展	2,498	248	0	2,746	57
割合(%)	21	18	0	21	
冬季企画展	1,500	460	48	2,008	36
割合(%)	13	34	37	15	
合 計	11,699	1,363	130	13,192	264
割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
平成30年度実績	10,781	1,229	217	12,297	292
平成29年度実績	7,399	934	212	10,734	294
平成28年度実績	9,070	119	852	10,041	293

※臨時休館

8月15日(木)の1日間

台風10号接近のため

10月12日(土)の1日間

台風19号接近のため

3月3日(火)～31日(火)の24日間

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

Ⅶ 日本民家集落博物館事業

1. 展示公開事業

一般府民への普及啓発と博物館の研究成果の公開のために、特別展又は企画展を開催した。また、展示室を一般府民に開放し、市民展示も開催した。

(1) 常設展示

国指定重要文化財 3 件、国指定重要有形民俗文化財 1 件、国登録文化財 3 件、大阪府指定有形文化財 4 件、大阪府指定有形民俗文化財 1 件を展示公開した。「むかしのくらし展示」では民具を展示すると共に昭和 30 年代の一部屋を再現し、公開した。石臼体験コーナーを併設した。

(2) 市民展示

地域の文化サークルや団体向けにセミナーハウス、堂島の米蔵を開放し、ギャラリーとして活用することにより地域に開かれた博物館を目指した。

①「同友会写真クラブ展」

ア. 内 容 豊中市退職教職員者同友会写真による、民家の写真展。

イ. 開催期間 3月30日(土)～4月7日(日)

②「春のてまり展」

ア. 内 容 日本手まりの会「都てまり」製作による、色鮮やかな手まり作品展。

イ. 開催期間 4月6日(土)～4月21日(日)

③「西野誠一切り絵展 胡人俑」

ア. 内 容 西野誠一による、唐代胡人俑をテーマにした切り絵作品展。

イ. 開催期間 5月11日(土)～5月26日(日)

④「陶芸展 民藝に想いを寄せながらⅡ」

ア. 内 容 東村孝郎による、食器や花瓶等、日常陶器の作陶展。

イ. 開催期間 10月5日(土)～10月20日(日)

⑤「能・狂言面展」

ア. 内 容 能面制作グループ「遊創工房」による、能面作品展。

イ. 開催期間 10月12日(土)～10月20日(日)

⑥「第25回游心会展」

ア. 内 容 豊中を中心に活動する書道会による、書道作品展。

イ. 開催期間 10月30日(水)～11月4日(月祝)

⑦「雛飾りいろいろ」

ア. 内 容 竹田箆子コレクションの砥部焼、木目込み人形等の雛飾り展。

イ. 開催期間 2月29日(土)～3月22日(日)

※新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、堂島の米蔵閉鎖により3月3日(火)で展示中止

⑧「みんかのボランティア展示会」

ア. 内 容 当館のボランティアスタッフによる手芸作品や絵画等の作品展。

イ. 開催期間 2月29日(土)～3月22日(日)

(3) 企画展

①「とほるのかいこ日記」

- ア. 内 容 当館館長による養蚕の記録を紹介する展示。
- イ. 開催期間 11月9日(土)～12月1日(日)

②「民家修復工事写真展」

- ア. 内 容 昨年度施工された、民家の土壁補修工事の記録を紹介する写真展。
- イ. 開催期間 2月1日(土)～2月24日(月祝)

2. 講演会解説事業

(1) 民家解説

展示民家について、ボランティアによる解説を行った。

(2)「むかしのうちを巡ろう」

- ア. 内 容 館長をはじめ、博物館職員による民家解説見学会を開催した。
- イ. 開催日 6月2日(日)、9日(日)

3. 体験学習・学校教育連携事業

(1) 夏休み親子企画「昔の暮らしについて学ぼう」

①白川郷の2階をのぞいてみよう

- ア. 内 容 小学生の親子を対象に白川の民家の屋根裏を公開し解説を行った。
- イ. 開催日 7月20日(土)・21日(日)・27日(土)・28日(日)、8月3日(土)・4日(日)・10日(土)・11日(日)・17日(土)・18日(日)・24日(土)・25日(日)・31日(土)

②なぞり書きと民家のぬり絵

- ア. 内 容 小学生の親子を対象に民家の縁側で、「奥の細道」や童謡などのなぞり書き体験や、民家と昔の暮らしを描いたイラストのぬり絵体験を行った。
- イ. 開催日 7月20日(土)～8月31日(土)

③紙すき体験

- ア. 内 容 小学生の親子を対象に、紙すきの体験を行った。
- イ. 開催日 8月17日(土)

④まゆから糸つむぎ・真綿づくり体験

- ア. 内 容 白川の民家で、小学生の親子を対象に、博物館でとれた蚕のまゆから糸つむぎ、真綿作りの体験を行った。
- イ. 開催日 8月24日(土)

⑤まゆ地蔵づくり体験

- ア. 内 容 小学生の親子を対象に、博物館でとれた蚕のまゆからまゆ人形を作る体験を行った。
- イ. 開催日 8月24日(土)

(2) 季節行事

日本の四季折々の歳時記にちなんだ催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備考
こいのぼりと 五月人形飾り	4月23日(火)～ 5月13日(日)	大和十津川の民家前庭 日向椎葉の民家園路	
ようか日	5月1日(水)～ 5月6日(月祝)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	7月2日(火)～ 7月7日(日)	大和十津川の民家前庭	
お盆飾り	8月11日(日)～ 8月15日(木)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
正月飾り	1月5日(日)～ 1月13日(月祝)	館内各民家	
白川名物トチ餅 ぜんざいを食べよう	1月12日(日)	飛騨白川の民家	ぜんざい69食
桃の節句・雛飾り	2月15日(土)～ 3月15日(日)	越前敦賀の民家	

(3) 囲炉裏体験

展示民家において、ボランティアによる囲炉裏体験を行った。

(4) 参加体験型事業

入館者の参加・体験型の催しを行った。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者 参加者数
むかしの遊び (コマ作り、しの笛、 竹でっぼう、竹ぼっくり、 腹話術、竹馬)	4月27日(土)・29日(月 祝)、5月2日(木祝)・3 日(金祝)・4日(土祝)・ 5日(日祝)	館内広場 日向椎葉の民家	ボランティア 201名
民家の塗り絵・ なぞり書き	7月21日(日)・28日(日)、 8月17日(土)・21日(水)	日向椎葉の民家	博物館スタッフ 8名
養蚕体験糸つむぎ	8月24日(土)	飛騨白川の民家	博物館スタッフ 20名
紙すき体験	8月17日(土)	飛騨白川の民家	紙すき工房どんぶり 20名
まゆ地蔵作り	8月24日(土)	セミナーハウス	博物館スタッフ 7名
親子芋ほり体験	10月13日(日)	飛騨白川裏の畑	ボランティア 5名
はたおり体験	10月18日(金)～ 10月20日(日)	南部の曲家	SAORI 豊崎長屋 60名

みんかの餅つき	2月2日(日)	日向椎葉の民家前	ボランティア 63名
きものでみんか	1月21日 1回実施 ※3月3日以降、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止	越前敦賀の民家	博物館スタッフ 1名
コマ遊び	4月6日～7月6日、9月7日～12月7日、2月15日～22日の各土曜日 29回実施 ※2月29日以降、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止	日向椎葉の民家前	ボランティア 719名
石臼体験	4月7日～5月19日、9月1日～11月17日の第1・第3日曜日 11回実施 ※3月1日以降、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止	石臼コーナー	ボランティア 67名

(5) 伝統文化体験

①和の装い体験

ア. 内 容 「森崎きもの教室」による着物の着付け体験を行った。

イ. 実 施 日 4月6日(土)

ウ. 場 所 南部の曲家

(6) 小学校の体験学習

小学3年生社会科「昔の暮らし」・4年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具を活用した「みんかむかしの暮らし体験学習」を実施し、地域の学校や教育機関との連携を拡大した。

ア. 内 容 小学3年生社会科「昔の暮らし」・4年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具を活用した独自の体験学習プログラムを実施した。

イ. 実 施 日 1月21日(火) 他

ウ. 受 入 吹田市立古江台小学校他 計6校 577名

(7) 中学生の職場体験学習

中学生の職場体験学習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

ア. 内 容 豊中市立第17中学校2年生の職場体験実習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

イ. 期 間 11月12日(火)～14日(木)

ウ. 受入人数 2名

4. 資料収集・提供事業

(1) 資料収集・研究

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集・研究を行った。

(2) 展示民家を提供・活用

民家を会場として、音楽、古典芸能、茶会などの催しを行った。文化活動団体に会場を提供することで、民家を会場として提供することで、民家により親しんでもらうための活用を図った。

①みんかで太鼓

ア. 内 容 「和太鼓サークル鼓遊」による和太鼓の祭囃し等の演奏会。

イ. 実施日 4月6日(土)

ウ. 場 所 日向椎葉の民家前庭

②弦楽アンサンブルコンサート

ア. 内 容 「センチュリー・ユースオーケストラ」有志による演奏会。

イ. 実施日 4月28日(日)

ウ. 場 所 日向椎葉の民家

③絵巻物語とマジック

ア. 内 容 「SA 豊中・観覧車」による絵巻物語とマジック。

イ. 実施日 5月26日(日)

ウ. 場 所 日向椎葉の民家

④お茶会

ア. 内 容 茶室を公開し、茶会を開催。博物館ボランティアとの連携。

イ. 実施日 4月6日・20日、5月4日・18日、6月1日・15日、7月6日・20日、
9月7日・21日、10月5日・19日、11月2日・16日、12月7日・21日、
1月18日、2月15日、計18回

※ 3月21日は新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止

ウ. 場 所 北河内の茶室

⑤民家でひなまつり

ア. 内 容 ひなまつりにちなんで、期間中各日とも先着50名の来館者に、小さなひなあられをプレゼントした。博物館ボランティアとの連携。

イ. 実施日 2月29日(土)～3月1日(日)

5. 人材育成事業

(1) ボランティア活動の促進

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。「勉強会」「交流会」などの機会を設けてボランティアとのコミュニケーションを深め、活動の促進をはかった。今年度は、68名が活動した。(新規登録者3名)

(2) 大学博物館実習

大学の博物館実習生を受け入れ、学習の場を提供し、館の普及活動の一助とした。

追手門学院大学、関西学院大学、京都府立大学、神戸大学 受け入れ5名

6. 普及・広報事業

(1) 特別行事

①「宮沢賢治の童話語り」

ア. 内 容 岩手県大阪事務所の協力により、フリーアナウンサー星野祐美子氏（希望郷いわて文化大使）を招聘し、朗読会を行った。

イ. 実施日 5月19日（日）

ウ. 場 所 日向椎葉の民家

②「民家集落わくわくワークまつり」

ア. 内 容 服部緑地10月祭への協賛事業として、大人半額・高校生以下無料で博物館を開放し、ワークショップ、コンサート、地域の物産展を行った。

博物館ボランティア連携。（当日参加者数691名）

イ. 実施日 10月19日（土）

(2) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努める。新規来館者を増やすため、近隣老人施設、写真や絵画のサークルなどに「催し案内」を配布した。

項 目	発 行 月	部 数
秋・冬の催し案内（9月～3月）	7月	12,000部
春・夏の催し案内（4月～9月）	2月	13,000部

(3) インターネットによる広報

当館の概要や催し案内をホームページやフェイスブックで広報し、PRの充実に努めた。

(4) DVD・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介のDVD・ビデオの視聴コーナーを設けた。また、学校等にDVD・ビデオの貸出を行い広報に努めた。

※新型コロナウイルス拡散防止対応のため堂島の米蔵閉鎖により、3月3日（火）以降視聴コーナーを閉鎖

(5) 諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ、FMラジオ、ミニコミ紙、阪急電鉄、北大阪急行電鉄、服部緑地公園管理事務所、都市緑化植物園、服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会等と連携し、効果的な広報に努めた。また、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報の協力を依頼した。NPO法人シニア自然大学校と連携し、ジュニア自然大学「服部緑地こどもゆめくらぶ」の活動に協力し、博物館の利用促進をはかった。

(6) 資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗」（上・下巻）を頒布した。（民家の案内97冊、民俗8冊）

また、小中学生向け案内マップ及び英語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップを作成し配付した。

7. 保存修理・施設整備事業

(1) 施設整備

展示民家の維持保存に悪影響を及ぼす樹木の伐採、見学者の安全に配慮した園路・階段などの整備を行った。

(2) 竹林キーパーの活動

ア. 内 容 館内の竹林の伐採、整備活動を専門に行うボランティアが活動を行った。

イ. 活 動 日 4月の毎月第1・第3水曜 計19回

8. 入館者数及び入館料収入一覧表

(令和元年度)

月	入館者数 (名)	入館料収入 (税込み・円)	開館日数 (日)
4月	4,397	1,693,550	26
5月	4,048	1,088,850	26
6月	2,149	549,300	26
7月	1,357	346,950	26
8月	1,015	260,000	27
9月	1,629	453,050	25
10月	3,519	818,650	26
11月	3,934	1,048,250	26
12月	2,060	586,850	22
1月	1,996	473,600	23
2月	2,525	630,500	25
3月	1,824	654,300	26
合 計	30,453	8,603,850	304

<年度比較>

	入館者数 (名)	入館料収入 (税込み・円)	開館日数 (日)
平成30年度	33,427	8,958,150	300
平成29年度	37,351	10,890,350	305
平成28年度	35,816	9,888,850	305

※臨時休館

10月12日(土)の1日間 台風19号通過のため